

# 北佐久広域景観エリアの景観育成方針

小諸市、佐久市、東御市、軽井沢町、御代田町、立科町

## 1. 北佐久広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- ・浅間山（2,568m）山麓の緩斜面と佐久平に位置し、北に浅間山、南にハヶ岳を望み、東は荒船山等の秩父山地、西には鹿曲川を挟んで相対する形で広がる八重原台地と御牧原台地等、特徴的な地形を有する。
- ・佐久平と浅間山には見る見られる関係があり、佐久平の田園や千曲川南の高台から浅間山への眺め、浅間山中腹から佐久平への眺めがそれぞれ親しまれている。
- ・小諸市（小諸眺望百選）や御代田町（浅間山八景）では、浅間山等の豊かな自然の認知と新たな魅力発見等を目的とし、独自に眺望点を選定しているほか、飯綱山公園歴史の広場は関東の富士見百景の1つに選定されている。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- ・国道18号、国道142号、国道254号、北陸新幹線、しなの鉄道、上信越自動車道等が長野・上田方面と群馬・関東方面を、国道141号やJR小海線が佐久平を經由し、南佐久・小淵沢方面をそれぞれ結んでいる。
- ・浅間サンライン（浅間山麓広域農道）や国道254号沿いのコスモス街道等、地域主体の取組により県内外に親しまれる固有の沿道景観が形成されている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

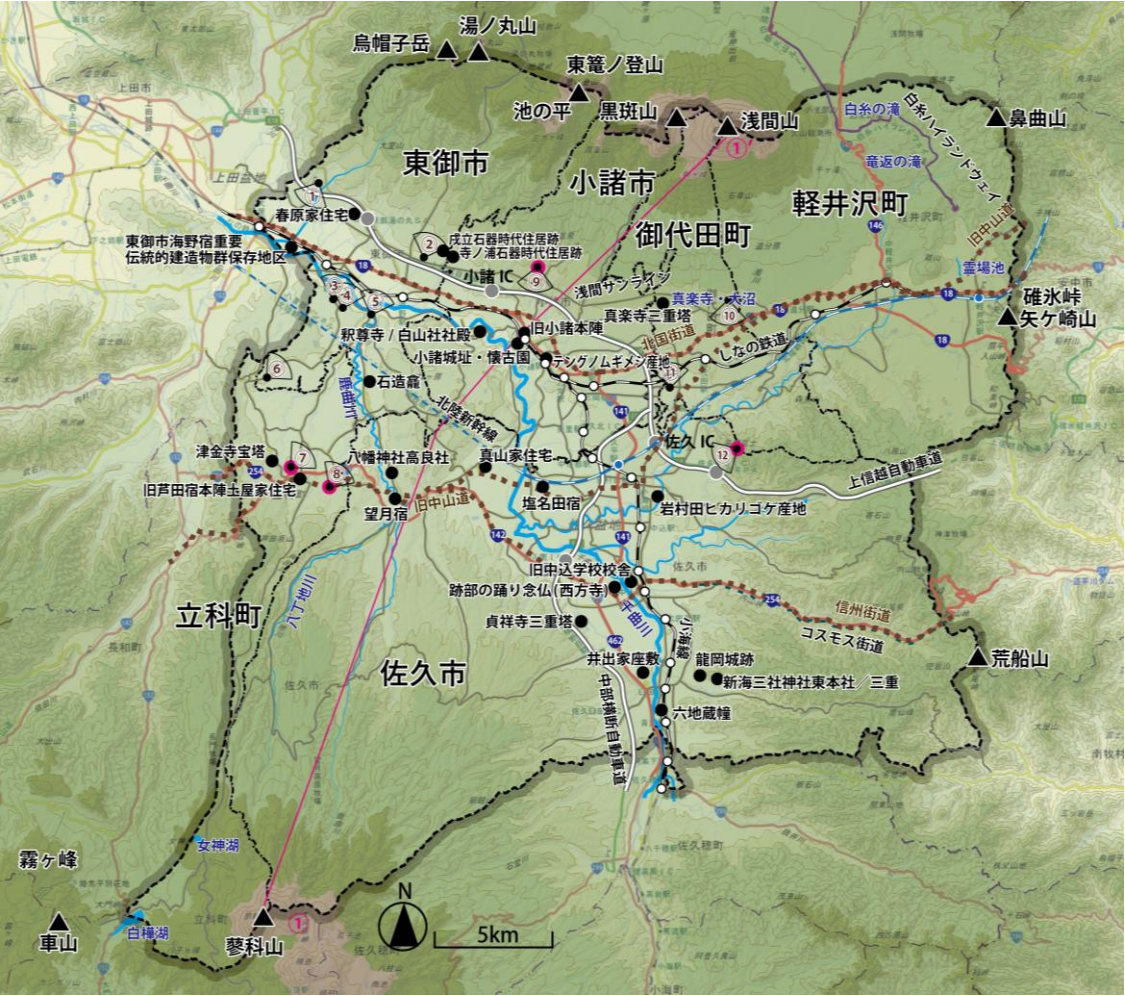
- ・甲武信ヶ岳を源とする千曲川は、佐久平を南から北に縦断した後、小諸より西に流れる。大小の支流と相まって、豊かな田園景観や渓谷等の潤いのある水辺景観を形成している。また、佐久鯉や豊富な地下水と良質米を利用した多くの造り酒屋等水の豊かさが支える固有の生業が営まれている。
- ・白樺湖や女神湖等の蓼科高原エリアや御膳水を水源とする雲場池、龍神伝説の伝わる大沼の池の湧水等エリア各地で湧水やため池等が潤いある景観を形成している。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

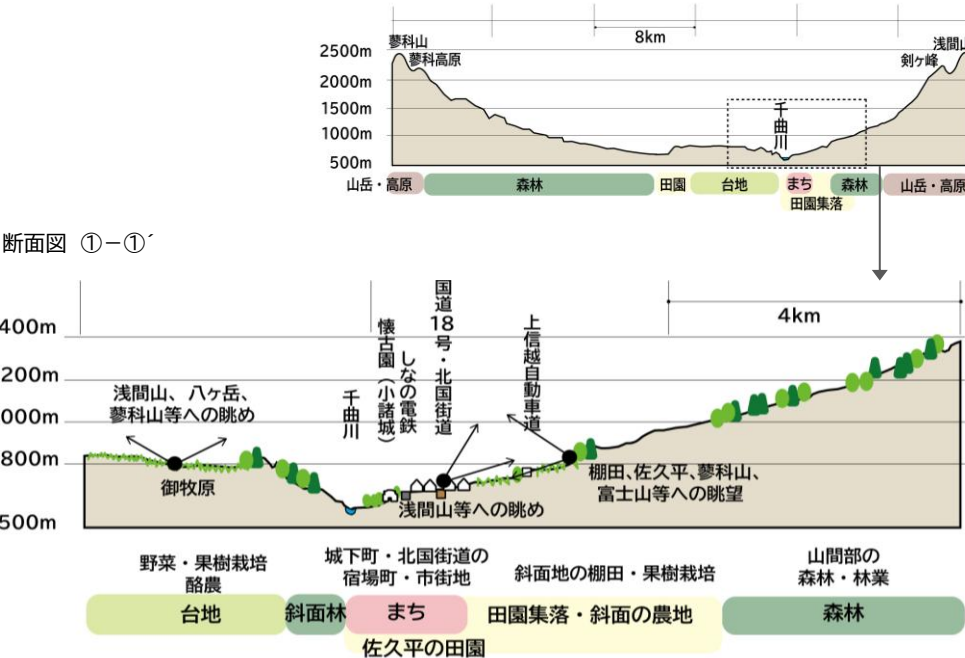
- ・星型稜堡をもつ洋式城郭である龍岡城五稜郭と城下町より低い位置にあるため通称「穴城」と呼ばれる小諸城のユニークな城址が2つあり、多くの市民や来訪者に親しまれる歴史的な景観を留めている。
- ・中山道と北国街道の2本の主要街道が通り、旧中山道追分宿・小田井宿・茂田井間の宿、北国街道小諸宿・海野宿等、複数の宿場が形成されている。東御市海野宿は昭和62年4月に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、小諸市では歴史的まち並みの保全・活用に取り組んでいる。

### ○産業の景観

- ・浅間山麓では高原野菜を中心とした畑地、傾斜地を生かした棚田が見られ、千曲川の段丘斜面上の平地や佐久平には水田を中心とした農地が広がり、集落や山並みと相まって美しい田園景観が形成されている。
- ・千曲川ワインバレーとしてワイナリーの集積、広がりある田園でつくられる五郎兵衛米のブランディング、地元産の酒米での酒造り等、特産品の生産地と産業振興が結びついた取組も多く展開されている。
- ・軽井沢町や御代田町の山麓は、樹林に囲まれた山地や高原リゾート地が形成されている



| 県指定眺望点 番号別対象地点名             |
|-----------------------------|
| ① 湯楽里館                      |
| ② 道の駅雷電くみの里                 |
| ③ 県道丸子北御牧東部線                |
| ④ 外山城跡                      |
| ⑤ みまき大橋                     |
| ⑥ 田楽池                       |
| ⑦ 権現の杜公園 風の子広場              |
| ⑧ 立科町交流促進センター内駐車場           |
| ⑨ 小諸市菱野の棚田                  |
| ⑩ 稻荷神社鳥居                    |
| ⑪ 浅間八景 JA佐久浅間御代田支所 ライスセンター前 |
| ⑫ 市民の森(平尾富士)                |



### 大切にしたい特徴

佐久平から望む浅間山／千曲川沿いの市街地と河岸段丘／広域交通軸である国道や鉄道からの車窓の景観／佐久平に広がる水田／2つの城郭や旧中山道と北国街道沿いに形成された宿場町・歴史的景観／浅間山麓に広がる棚田・田園集落／蓼科山、白樺湖、女神湖等多くの人が訪れる自然環境高原景観／別荘地の緑豊かな環境、国有林

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- ・浅間山
- ・千曲川
- ・佐久平周辺の山岳景観や自然景観（田園、湯ノ丸山、烏帽子岳等）
- ・浅間山麓の果樹等の栽培風景
- ・鉄道(しなの鉄道、JR小海線)



北国街道・小諸宿の町並み(小諸市)



奥に浅間山を望む五郎兵衛新田の景観(佐久市)



北国街道・海野宿の町並み(東御市)



雲場池(軽井沢町)



浅間山に抱かれた高原野菜の産地(御代田町)



白樺湖(立科町・茅野市)

## 2. 北佐久広域景観エリアの育成方針

## 1)広域景観育成の基本目標

- ・ 見る見られる関係にある佐久平と浅間山の眺望景觀を、景觀の基調を成す田園風景等生業の風景と一体的に守り育てる。
- ・ 街道筋のまち並み、歴史的資源を良好に保全・創出するとともに、国道や広域農道（浅間サンライン）等の広域交通軸は、軸としての魅力を高める。
- ・ 別荘地等特色ある住環境、浅間山麓の棚田や果樹栽培の風景、佐久平の田園風景等、市町村を超えて一体的な特色を有する場所を保全することで、エリア固有のまとまりのある景觀を形成する。

## 2)広域景観育成の基本方針

## 2-1 広域景観の育成を先導する取組

### ① 活かしたい眺望景観

- ・ 佐久平に広がる田園から浅間山、蓼科山への眺め（例：五郎兵衛新田）
- ・ 千曲川南の高台や斜面地から浅間山・千曲川を一体的に望む眺め（例：八重原台地・御牧原台地）
- ・ 浅間山中腹から佐久平への眺め（例：稲荷神社鳥居、小諸市菱野の棚田）
- ・ 国道や広域農道、鉄道等の交通軸から連続的に望む景観（例：国道18号、国道142号、国道254号、浅間サンライン）

## ②景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

## ②-1 浅間山麓景観育成重点地域における広域景観の育成

●対象地域：浅間山麓景観育成重点地域(当初指定地域)

- ・ 県と市町村間での方向性の共有、景観形成基準の調整
- ・ 山麓の緩斜面に展開する果樹栽培や棚田の風景、樹林地に囲まれた別荘地等の保全・活用
- ・ 広域農道（浅間サンライン）や市町村の浅間山を望む眺望点等の滞留空間や案内サイン整備

## ②-2 佐久平と周囲の山並みとが一体となった拡がりある広域景観の育成

●対象地域:佐久平の一帯

- ・ 佐久平を望む視点場の滞留空間や案内サインの整備、眺望支障物の撤去、夜景等の保全
- ・ 市町村を超えて一体的な特色を有する景観の育成（市町村境の大規模建築物・工作物等の誘導）
- ・ 佐久平固有の生業の風景を活かした産業とも連携した景観育成の推進

### ③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:国道18号、国道141号、国道142号、国道254号、高速道路(上信越道)、北陸新幹線等

- ・ 街道筋や千曲川、広域交通等、エリアをネットワークする要素を活かした景観誘導（エリアの共通イメージをつくる統一サインの整備、建築物や屋外広告物のルールづくり）
- ・ 特に眺望の美しい区間や眺望スポットの整備、前景となる田園景観の保全・育成
- ・ 中部横断自動車道の延伸により、広域交通を軸とした景観育成の取組検討（南佐久広域景観エリアとの連携）
- ・ 高速道路や北陸新幹線の沿道・沿線における屋外広告物のルールづくり

## 2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

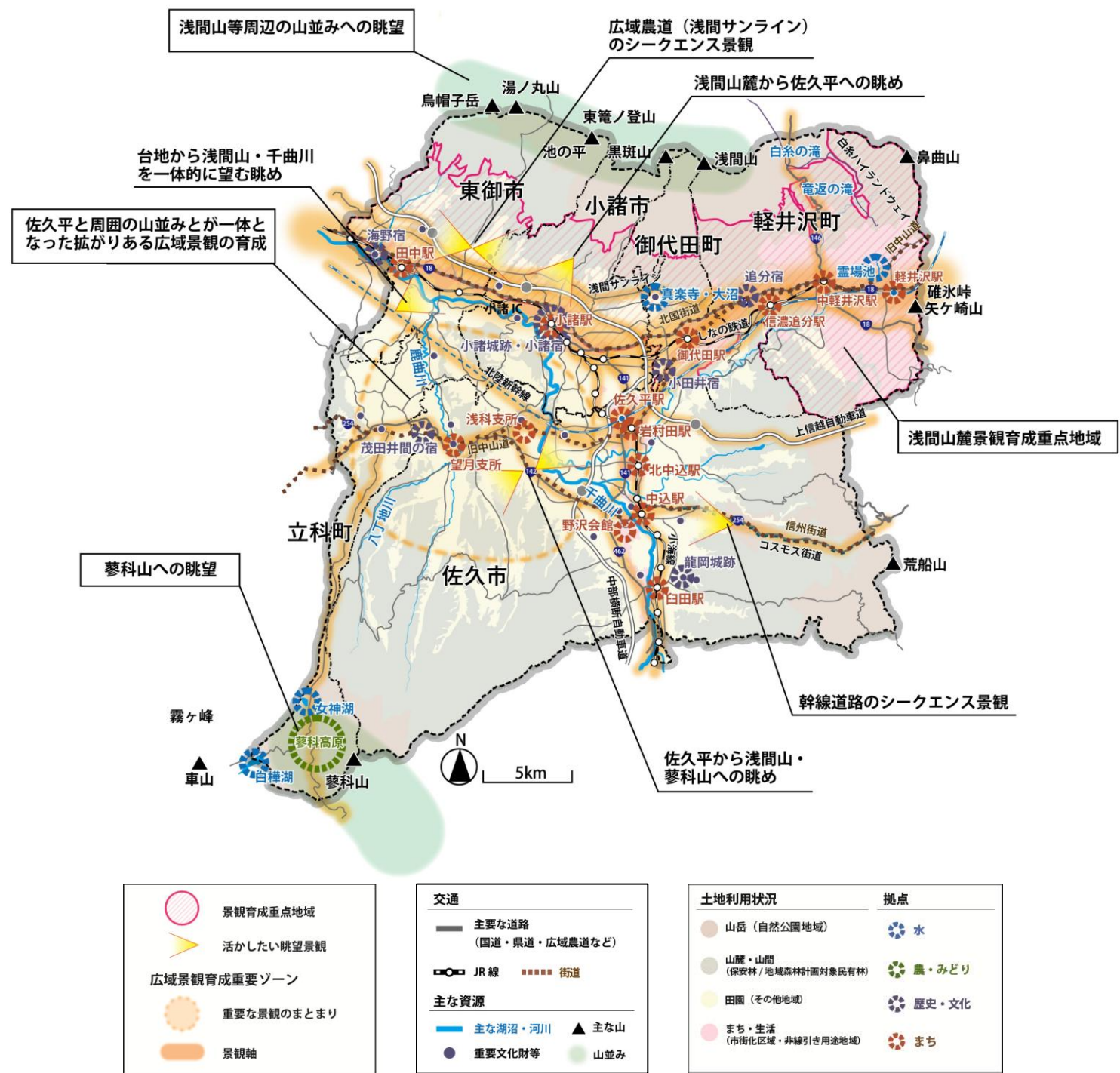
### ① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・別荘地等の特色ある住宅地や五郎兵衛米（ブランド米）の生産地である田園と集落地等、固有性の高いエリアの景観誘導、歴史文化等地域固有の景観の保全・創造に使われてきた既存の住民協定活動の支援、担い手育成
- ・住民主体での沿道景観形成や文化財・まち並み保全の動きとの連携や支援

## ② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり（資源のリスト化やエリア統一の情報発信等）
- ・ 佐久地域（南佐久広域景観エリアとの連携）で取り組んでいる周遊ルートづくりや、宇宙・星空をテーマとしたツアーと連携した取組（景観学習等）
- ・ 既存の取組（千曲川ワインバレー）等特産物と景観を結びつけるエリア振興策の検討（ワイン用ブドウとワイナリー、酒米と酒蔵、ブランド米等）

## 図 広域景観エリアの景観育成方針



## 眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 南佐久広域景観エリアの景観育成方針

小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村

## 1. 南佐久広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 東に八ヶ岳・蓼科山、西に関東山地(秩父山地)等山々に囲まれたエリアで、北部の佐久平から連なる千曲川沿い等の平地(台地・丘陵地)も標高約1000mを超え、山裾の高原地の景観を有する。
- 野辺山高原は高地で見晴らしが良く低湿、山に囲まれ光害が少ない等から、天文学者が選ぶ「日本で一番綺麗な星空ベスト3」に選定されている。
- エリア南部の高台等からは八ヶ岳への眺めが、エリア北部では八ヶ岳と浅間山の双方の眺めがそれぞれ得られる。また、県境付近の山頂や峠からは北アルプス、富士山、群馬県の山並み等、エリアを超えた眺めが楽しめる。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 国道141号とJR小海線が南北を、国道299号及び国道462号が東西を貫き、エリアの骨格道路となっている。
- 蓼科高原から八千穂高原を通る国道299号は美しい景観からドイツ・メルヘン街道に因んでメルヘン街道と呼称される。
- 中部横断自動車道が佐久小諸JCTより八千穂高原ICまで整備され、今後長坂JCTまで延伸される計画である。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

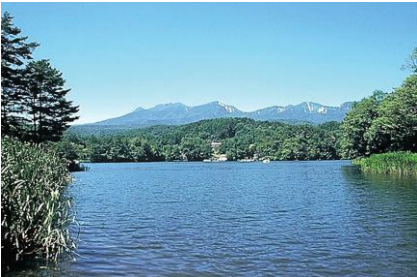
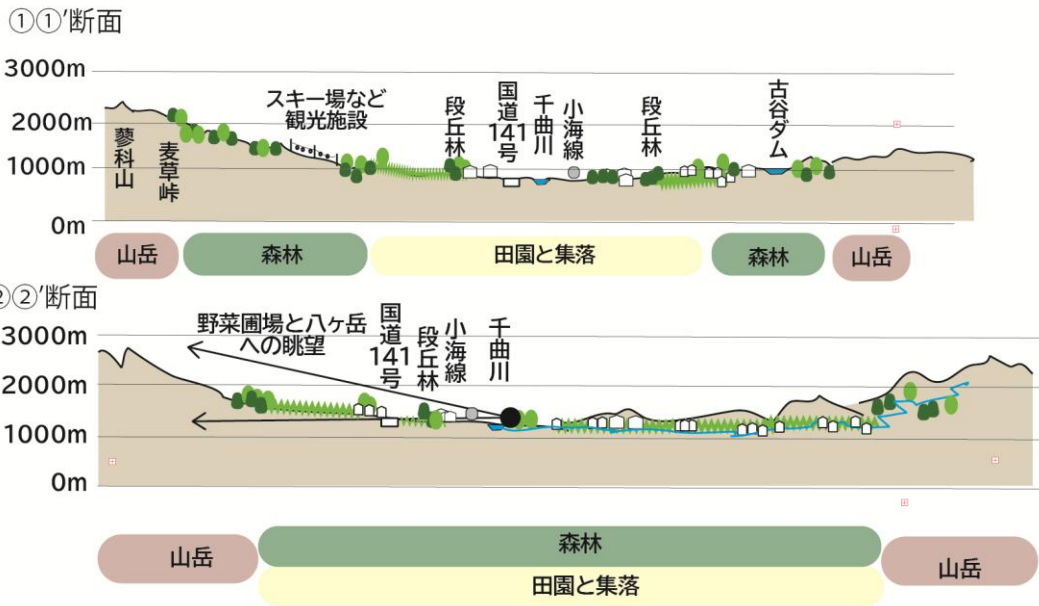
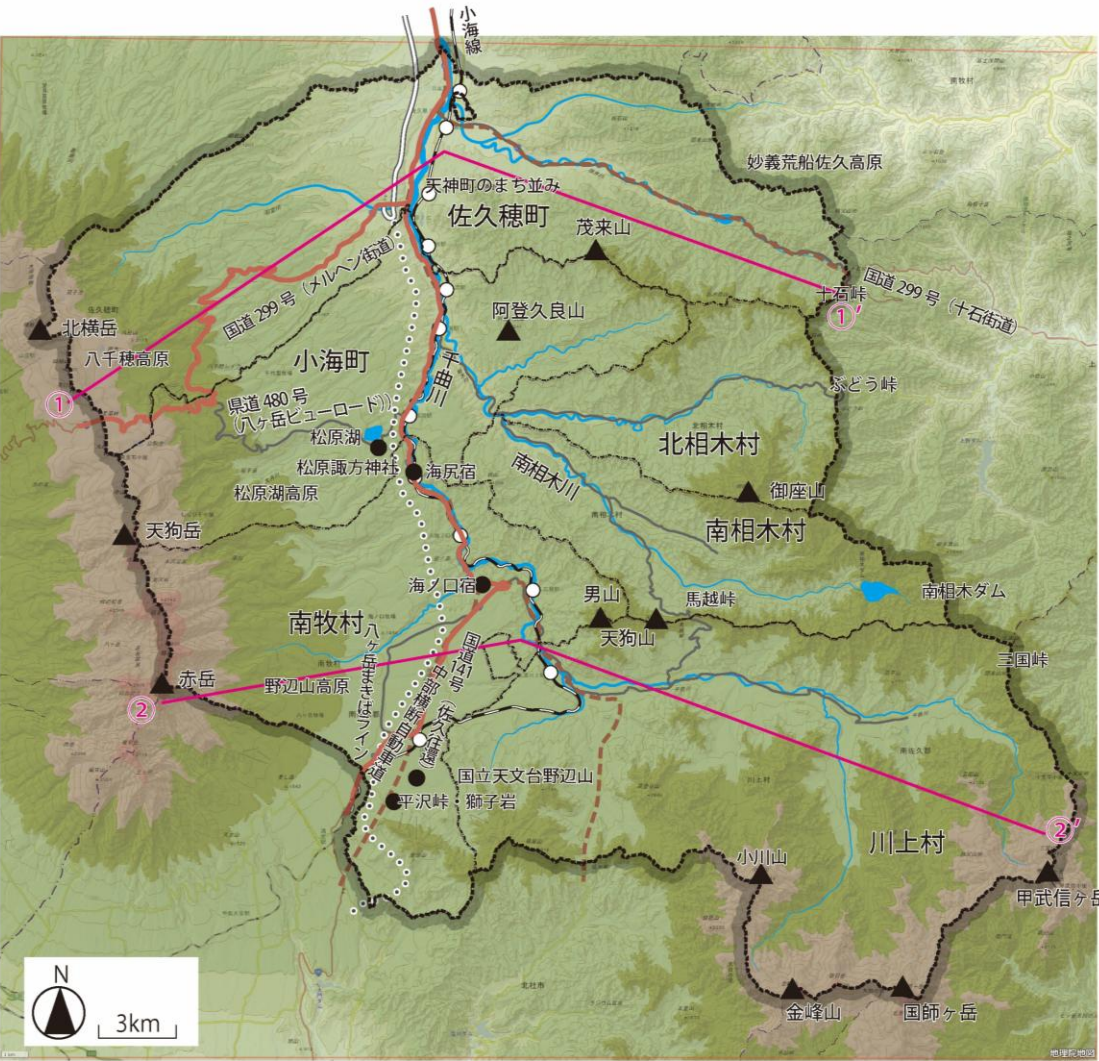
- 甲武信ヶ岳を水源とする千曲川は川上村内を東西に流れ、信濃川上駅付近よりJR小海線や国道141号と並行してエリア中央部を東西からの支流を集めながら流れ、各町村の中心部を結んでいる。
- 支流は急峻な箇所も多く、各所に滝や溪谷が形成され、名勝地として認知されているものも見られる。
- 八ヶ岳の水蒸気爆発による崩壊で生まれた松原湖をはじめ、中小の湖沼群が点在している。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- エリア内には、複数の社寺や獅子舞等の民族芸能が見られるほか、近世以降に整備された佐久往還(佐久甲州街道・中山道岩村田宿～甲州街道韭崎宿)の複数の宿場が往時の名残を留めている。

### ○産業の景観

- 高地を利用したレタス、キャベツ、白菜等の栽培が盛んであり、大規模な耕作地の景観が見られる。
- 国道299号(メルヘン街道)や県道480号(八ヶ岳ビューロード)、八ヶ岳まきばライン周辺には別荘地やスキー場、キャンプ場、美術館等の観光施設が多く分布している。



松原湖と八ヶ岳(小海町)



高原野菜圃場と八ヶ岳への眺め(川上村)



野辺山高原の高原野菜(南牧村)



天狗山(南相木村)



御座山麓(北相木村)



山並みと耕作風景の拡がり(佐久穂町)

## 2. 南佐久広域景観エリアの育成方針

## 1) 広域景観育成の基本目標

- ・ 地区の中央を縦断する千曲川、JR小海線、中部横断自動車道を広域的な自然・交通軸とし景観育成を進め、移動の軸としての魅力を高めながら、エリアとしての統一感を創出する。
- ・ 佐久甲州道を始めとした街道筋のまち並み、古い歴史を有する社寺等の歴史・文化的資源を良好に保全・活用を進める
- ・ 河川アクティビティや湖畔、滝等の水辺、星空等の個性の異なる地域資源を巡る楽しみを育成。
- ・ 高原や地形的特徴と野菜栽培の豊かさはエリア共通の景観の基盤として保全・育成する。

## 2) 広域景観育成の基本方針

## 2-1 広域景観の育成を先導する取組

## ① 活かしたい眺望景観

- ・ エリア南部から八ヶ岳を望む眺望景観（例：平沢峠）
- ・ 県境の山頂から八ヶ岳、浅間山、北アルプス、群馬県の山並みや富士山を望む眺望景観（例：十石峠等）
- ・ 千曲川平地部より望む八ヶ岳や浅間山を望む眺望景観（例：栄橋）

## ② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：特徴的な気候と千曲川流域に広がる田園地域における広域景観の育成

- ・ 山麓の樹林や高原農地等を基調とした景観の誘導
- ・ ハヶ岳や浅間山を望む視点場の滞留空間や案内サインの整備、眺望支障物の撤去、夜景等の保全
- ・ 大規模建築物・工作物（太陽光発電施設・電力施設の鉄塔）等の誘導

### ③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：ハケ岳や千曲川と並走する南北に延びる景観軸の景観育成  
(千曲川、国道141号、JR小海線、中部横断自動車道等)

- ・ JR小海線や中部横断自動車道におけるシークエンス景観の育成
- ・ 河川（八千穂地区かわまちづくり、道の駅）、河川沿いの遊歩道から望む景観の育成
- ・ 中央横断自動車整備に際しての道路施設デザインの景観配慮
- ・ 中央横断自動車道の全線開通に向けた沿道における屋外広告物の規制誘導の検討

## 2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

### ① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- 身近な生活環境や歴史・文化等の地域固有の景観の保全・創造に対して、住民協定の締結や活動の支援、担い手の育成等への取組
- 住民やまちづくり団体と連携した歴史文化的資源や河川・水辺、自然環境の保全活動

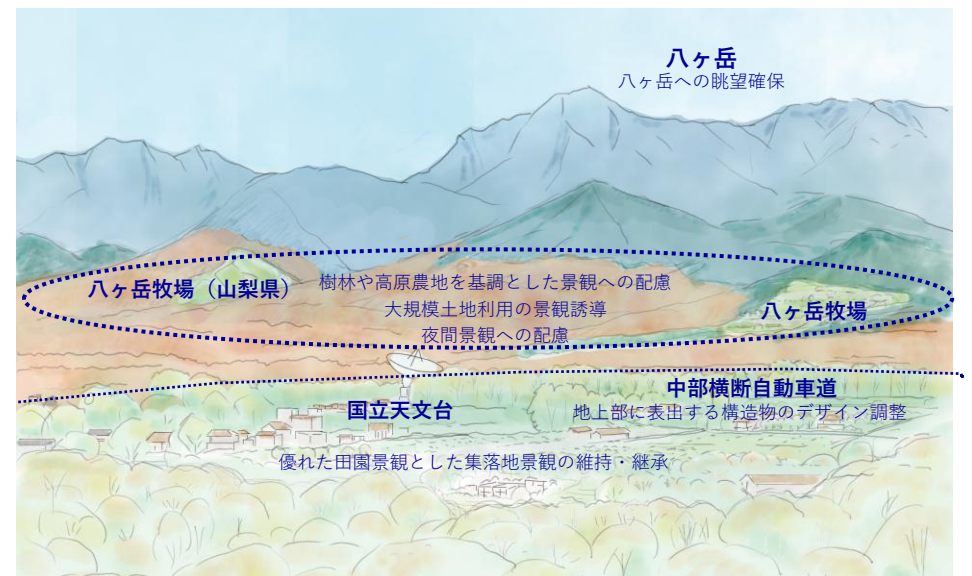
## ② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 佐久甲州道沿いに残る歴史的資源を活用した広域ネットワークの形成  
→JR小海線八千穂駅～八千穂駅周辺の酒蔵を中心とした歴史的なまち並みの保全や活用
- ・ 特産物と景観を結びつけるエリア振興策の検討  
→高原で栽培される野菜等のエリア統一のブランディング
- ・ 星空を活かした夜間の景観づくり  
→天体観測等の星空の活用や夜間照明の誘導
- ・ エリアの地形や自然的景観を改変する行為への適切な誘導  
→大規模な土地利用転換や太陽光発電施設の立地調整等

## 図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 上田広域景観エリアの景観育成方針

上田市、長和町、青木村、坂城町

## 1. 上田広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 県の東部、千曲川中流部に位置し、北は菅平高原、南は美ヶ原高原等の2,000m級の山々に囲まれている。中央に上田盆地・塩田平が開け、千曲川が地域を二分する形で東西に流れている。
- 盆地に形成された市街地と里山、低山等が近接しており、太郎山や独鈷山、葛尾山（葛尾城跡）、青木三山等、遠足や校歌等子どもの頃から親しみ、地元で愛される身近な山が多く存在する。
- 里山や高原、高速道路PA等の高台からは、上田盆地（千曲川、田園、市街地）と山並み（菅平高原、浅間山、蓼科山、烏帽子岳等）を望むほか、浅間山、蓼科山への眺望は、幹線道路の移動中等日常生活の中でも親しまれる。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 盆地を中心に北陸新幹線（上田駅）、鉄道各線、上信越自動車道、国道18号等広域的な交通網が形成され、首都圏、北陸圏との近接性が高く、長野・松本・諏訪・佐久等を結ぶ、県内交通の要衝でもある。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

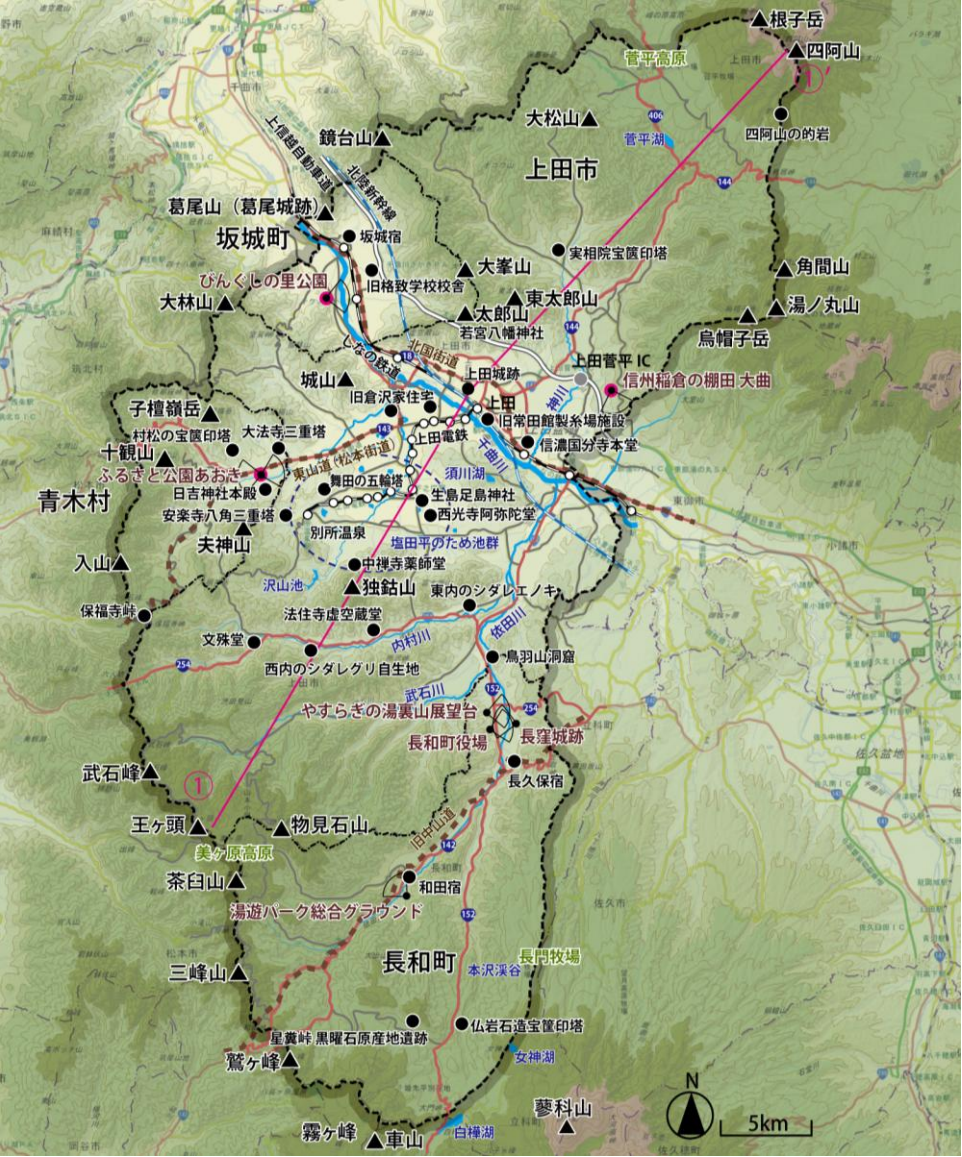
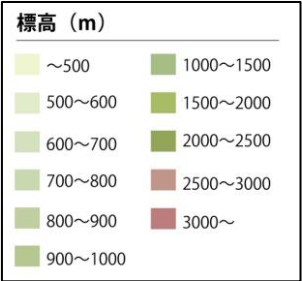
- 中央部に東西に流れる千曲川は、依田川、神川、内村川等の大小の支流が合流している。依田川等の支流沿いには渓谷や滝等の景勝地が多く存在するほか、河岸段丘が形成する緑地帯が市街地の中に見られる。
- 降水量の少なさから、塩田平を中心に多くのため池があり、ため池や水にまつわる民話や伝承が数多く残る。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

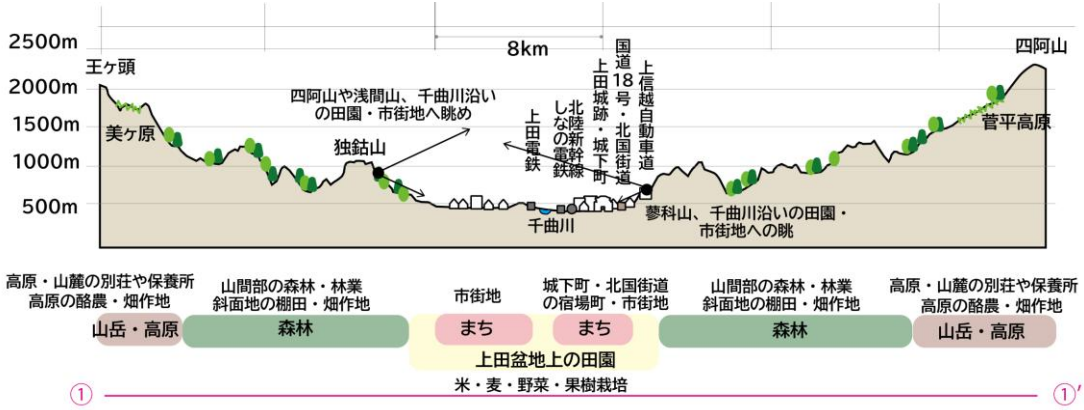
- 上田城と城下町、国宝の安楽寺八角三重塔や大法寺三重塔、別所温泉や鹿教湯温泉、飛鳥時代に開湯した田沢温泉・沓掛温泉、旧街道沿いの宿場町等の歴史的な資源、まち並みを有している。
- 古くは飛鳥時代から京都～東北を結ぶ東山道の拠点として栄えた交通の要衝であり、北国街道をはじめ、旧中山道、松本街道等の街道筋が整備され、東山道浦野駅(うらののうまや)・日理駅(わたりのうまや)、北国街道上田宿・坂城宿、旧中山道長久保宿・和田宿等の宿場町が形成された。また、北国街道沿いには蕨蔵や蚕室造りの民家等蚕都の面影を伝える歴史的まち並みも残されている。
- 上田市では信州上田・塩田平の歴史・文化財が、長和町では黒耀石原産地遺跡等が日本遺産に認定されているほか、青木村の古くは飛鳥時代に由来する歴史等、民話や伝承とともに継承されてきた奥深い歴史文化を有するエリアでもある。

### ○産業の景観

- 盆地の市街地縁辺にはまとまった田園が広がる一方、斜面を活かした棚田や畑作地等、地形を生かした農業が展開されている。晴天率の高い気候条件と標高差を生かした高原野菜やぶどうの産地であり、カラマツを主体とした林業・木材産業も活発である。
- 菅平高原・湯の丸高原等の自然、上田城跡、宿場町等の歴史文化的資源、別所温泉等の観光資源がコンパクトに集積している。高原エリアでは別荘地やスキー場等が形成されている。



断面図 ①-①'



### 大切にしたい特徴

上田盆地から望む浅間山、蓼科山等の山並み／高台や山腹から望む上田盆地と山並み／広域交通軸である国道や鉄道からの車窓の景観／千曲川沿いの市街地、河岸段丘／上田城跡と街道沿いに形成された宿場町、蚕都の面影を伝えるまち並み、歴史的資源／歴史ある温泉地／上田盆地や山腹の田園や果樹の栽培風景／菅平高原や美ヶ原高原等四季を通じてレクリエーションやスポーツ合宿で親しまれる自然

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- 上田盆地(田園、市街地)や周囲の山々
- 千曲川
- 国道や生活道路から見える山並み(四阿山、浅間山、蓼科山、烏帽子岳等)
- 鉄道(しなの鉄道)



上田城跡(上田市)



塩田平のため池群(上田市)



しなの鉄道と市街地(産業団地)、田園が隣接する風景(坂城町)



和田宿のまち並み(長和町)



国道142号(和田小下歩道橋)からの浅間連山の眺め(長和町)



夫神山と田園・集落の眺め(青木村)

2. 上田広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- ・ 上田盆地・塩田平を中心に形成されてきた、歴史・文化、まち、田園等の営みを保全・育成する。
- ・ 各地で地元可愛られている景観をエリア内外に発信し、磨き上げるとともに、サイクリング、交通軸（鉄道や国道等）等、広域ネットワークにおける取組とも連携し、エリアを巡る楽しみを育てる。
- ・ 民話や伝承とともに継承されてきた歴史・文化（県内交通の要衝としての街道と宿場町や道標、気候風土と深く結びついた塩田平のため池等）を良好に保全・育成し、次の世代に継承する。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- ・ 低山や丘陵等の高台から上田盆地を望む眺め（例：びんぐしの里公園、ふるさと公園あおき、信州稲倉の棚田大曲、高速道路PA）
- ・ 身近な低山やシンボリックな山並みへの眺め（例：上田盆地、塩田平、国道18号、国道152号）
- ・ 千曲川沿いの橋梁、公園、サイクリングロード等河川沿いから盆地と山並みを望む眺め（例：上田電鉄千曲川橋梁、上田大橋、一般県道上田千曲長野自転車道）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:千曲川の扇状地(上田盆地、塩田平、坂城盆地周辺)

- ・ 盆地や平を望む視点場の滞留空間や案内サインの整備、夜景等特徴的な眺望景観の保全
- ・ 固有の歴史や田園景観の保全・育成（建築物・工作物等の誘導、農産業とも連携した景観の保全）
- ・ 街道筋や千曲川、サイクリングロード、広域交通等、エリアをネットワークする要素を活かした景観誘導（エリアの共通イメージをつくる統一サインの整備、公共事業における質の高い景観形成）

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:国道18号、国道142号、国道143号、国道152号、高速道路(上信越道)、北陸新幹線等

- ・ 特に眺望の美しい区間や眺望スポットの整備、前景となる田園景観の保全・育成
- ・ 建築物や屋外広告物のルールづくり、統一サインの整備
- ・ 景観軸として公共施設の質の向上（景観重要公共施設、デザイン協議等）
- ・ 巡りを促すハード・ソフトの取組を展開
- ・ 高速道路や北陸新幹線の沿道・沿線における屋外広告物のルールづくり

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

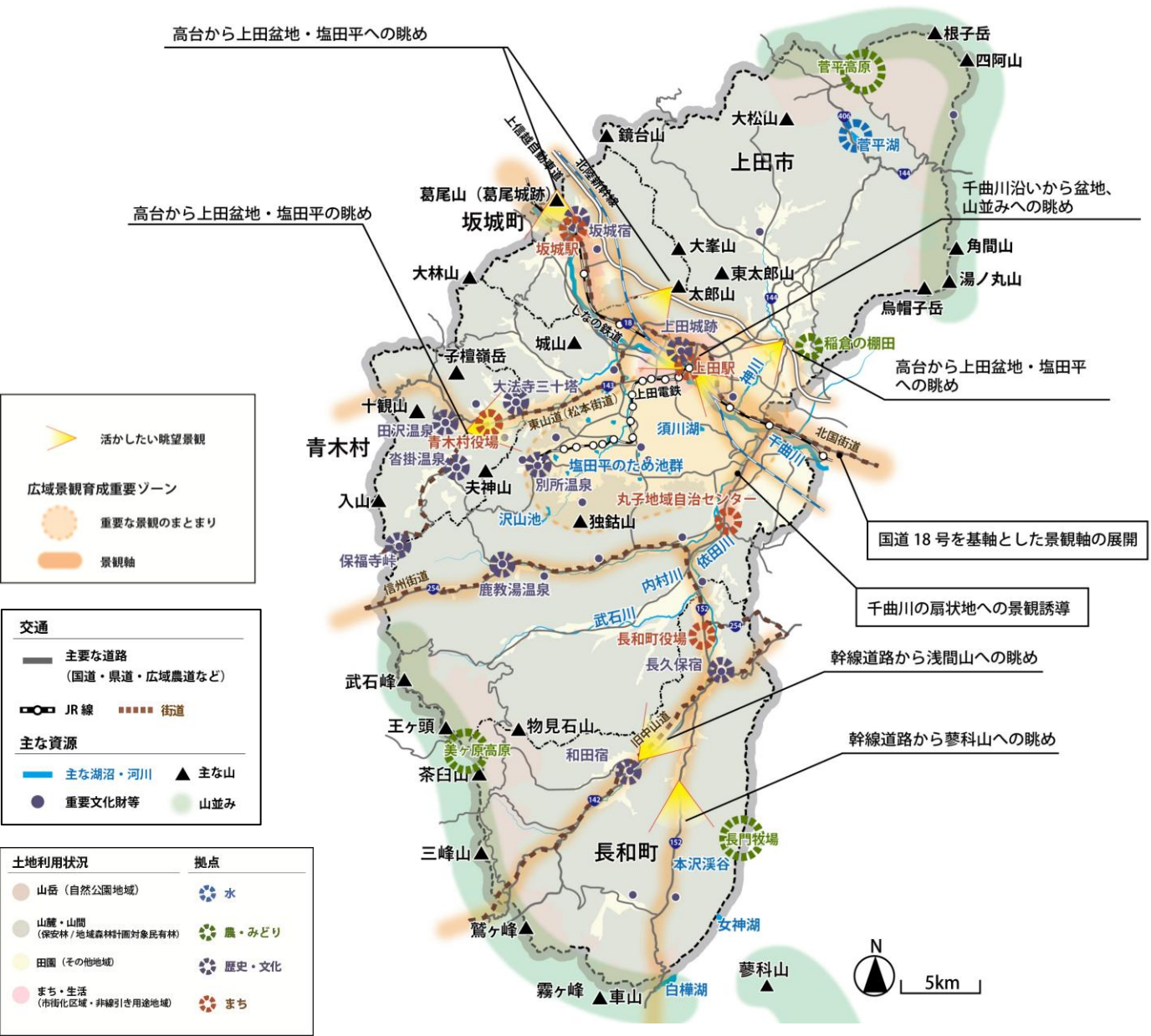
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・ 地域の大切な生活道路や商店街、高速道路のインター周辺や道の駅等の身近な拠点周辺の景観誘導、歴史文化等地域固有の景観の保全・創造に使われてきた住民協定活動の支援、担い手育成
- ・ 住民や団体と連携した河川・水辺、自然環境の保全（地域や企業と連携したクリーン活動、身近な低山の登山道や案内サイン整備等）、歴史・文化的資源を巡る取組（団体や大学等と連携したマップやルート作成）

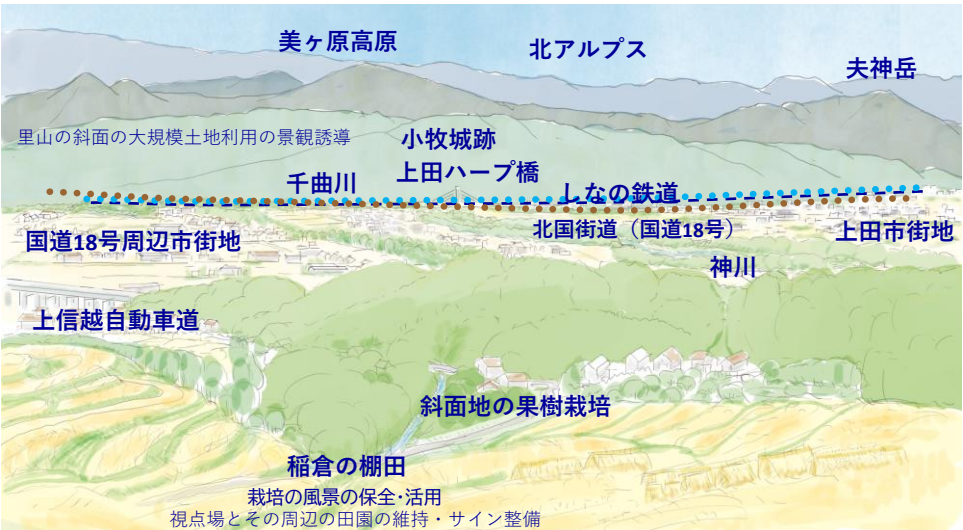
② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり（資源のリスト化やエリア統一の情報発信等）
- ・ 地元団体や民間企業、大学と連携した周遊ルートづくりやガイドツアー、特産物と景観を結びつけるエリア振興策（ワイン用ブドウとワイナリー等）の検討
- ・ 見るだけでなく、目に見えない伝承や民話、食等の五感、移動やアクティビティとも一体となった景観体験の構築
- ・ 千曲川沿いの広域周遊ルートづくり（一般県道上田千曲長野自転車道）、サイクルトレイン（しなの鉄道）、千曲川ワインバレー等、景観育成との親和性の高い既存の取組との連携

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 諏訪広域景観エリアの景観育成方針

岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村

## 1. 諏訪広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- ハケ岳（赤岳2,899m）の西南山麓に位置し、蓼科山の山並みと南アルプス北端を望むことができる。
- 「ふるさとの見える（丘）」として、諏訪湖周及びその高台、白樺湖展望台等の山頂付近、見晴らしの良い公園が指定され、諏訪湖周、ハケ岳、南アルプス及び富士山の山・山並みが視対象である。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- J R 中央線、中央及び長野自動車道及び国道20号がエリアを縦断し、松本／伊那／山梨県の各方面を結んでいる。
- 諏訪湖スマートインターチェンジの開通により、本エリアへのアクセス性が向上。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

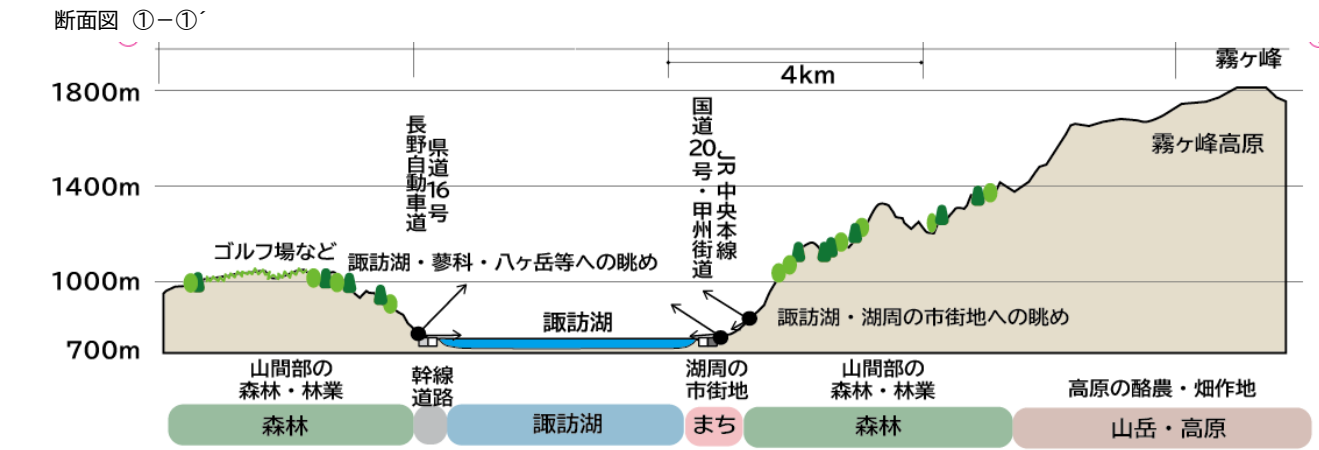
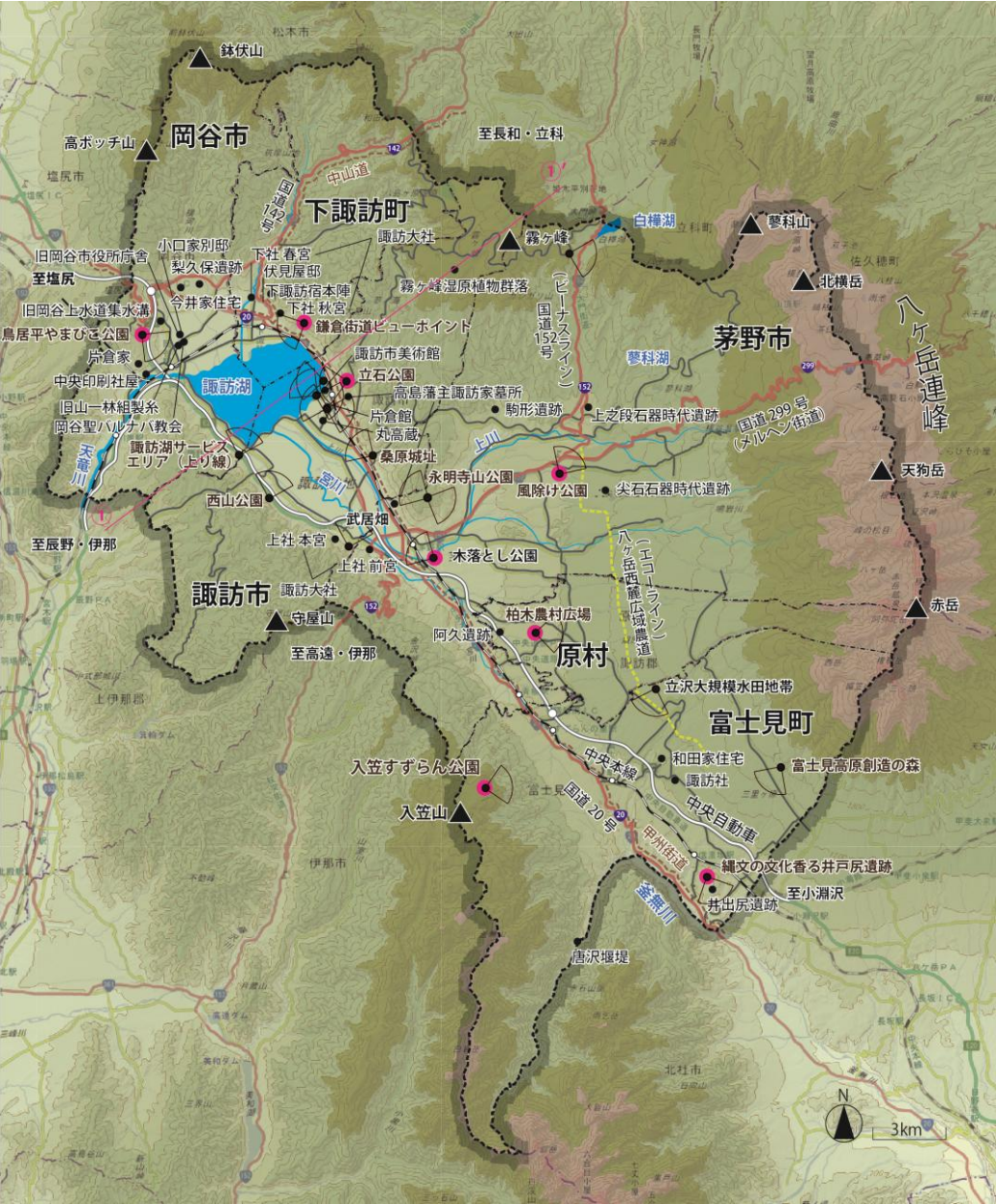
- ハケ岳連峰の赤岳を源とする天竜川は、諏訪湖に集められ、西岸の釜口水門から天竜川として流出する。
- 南アルプス北部の鋸岳を源とする釜無川は、富士見町で立場川と合流し、山梨方面に流下する。
- 諏訪湖、白樺湖、蓼科湖等の湖沼や大泉等の湧水群がエリア全体に見られる。諏訪湖周は、温泉街として賑わう等、水資源が豊富なエリアであり、観光・交流の貴重な景観資源となっている。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- ハケ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山があり、山梨県内を含む複数市町村が日本遺産（星降る中部高地の縄文世界）として認定されている。
- 江戸五街道の1つである甲州街道が、江戸から甲府を経由し、下諏訪まで整備された。また、中山道がエリア北部を通っており、下諏訪町には本陣が整備された。これら旧街道は、歴史的建造物や石碑等が名残をとどめている。
- 最も古い神社の一つとされる諏訪大社（上社前宮、本宮、下社春宮と秋宮の四社）が諏訪湖を囲むようにあり、その門前も含め、歴史的な景観を形成している。

### ○産業の景観

- ハケ岳山麓には広大な田園景観が広がっており、社寺林や段丘流林、防風林（茅野市の風除けの松）と相まって、個性的な景観を生み出している。
- 本エリアは信州屈指の工業地域でもあり、明治期には岡谷を中心に製糸業が発達、戦後は精密機械工業が発展した。豊富な水と澄んだ空気は精密機械に適しており、「東洋のスイス」として名を馳せた。



シルクファクトおかや(岡谷市)



立石公園から諏訪湖への眺め(諏訪市)



風除けの松(茅野市)



下諏訪宿本陣岩波家(下諏訪町)



里山から富士山への眺め(富士見町)



ハケ岳山麓の田園(原村)

2. 諏訪広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- ・ 田園や市街地を取り囲む山並みを守り、諏訪湖・白樺湖等の水資源、ハケ岳山麓に広がる田園風景、富士山やハケ岳への眺望、諏訪大社や歴史的資源を活かし、地域住民の暮らしを豊かにする
- ・ 観光や産業と連携し、エリアの魅力と価値を高め、関係人口や移住者を増やし、地域の活性化を目指す

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- ・ 諏訪湖及びその周辺市街地、後背の山並みを望む眺望景観（例：立石公園、諏訪湖サービスエリア）
- ・ 諏訪湖畔より富士山を望む眺望景観（例：赤砂崎公園、みずべ公園）
- ・ ハケ岳山麓からハケ岳を望む眺望景観（例：風除け公園、柏木農村広場）
- ・ ハケ岳山麓から富士山や南アルプスを望む景観（例：立沢大規模水田地帯）

② 景観のまとめりににおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

②-1 ハケ岳山麓重点地域における広域景観の育成

●対象地域：ハケ岳山麓重点地域(当初指定地区)をベースとした周辺地域

- ・ 長野県と茅野市の景観計画に定める景観育成基準の統一したルールづくり（基準や取扱い等の調整）
- ・ ハケ岳裾野に広がる自然豊かな景観資源と調和した屋外広告物の設置（ハケ岳西麓地域の屋外広告物に関する基本計画書、長野県屋外広告物条例）

②-2 周辺の山並みと調和した諏訪湖周の広域景観の育成

●対象地域：諏訪湖及び周辺の市街地、周囲の山並み

- ・ 諏訪湖周の一体感ある広域景観の育成に向けた建築物等の景観に関するルールづくり（重点地域検討）
- ・ サイクリングロード整備を契機とした案内サインの統一
- ・ 湖周の道路や護岸、街灯等の公共施設等デザイン調整や仕様基準の検討
- ・ 眺望点から富士山や湖畔の建築物への眺望景観の確保
- ・ 湖周周辺の歴史的・文化的資源を活用した景観育成の推進

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象路線：景観拠点へのアクセス道路・街道・河川・鉄道、ハケ岳山麓重点地域内の主要な道路（甲州街道(国道20号)、JR中央線、中山道、ハケ岳エコーライン、国道299号(メルヘン街道)、ビーナスライン、高速自動車道(中央道・長野道、)、国道20号バイパス、天竜川等）

- ・ 沿道や車窓景観、シークエンス景観の育成
- ・ 街道筋に残る歴史的な資源の保全・活用等
- ・ 国道20号バイパス整備に際しての道路施設デザインや沿道景観に対する配慮
- ・ 高速道路の沿道における屋外広告物のルールづくり

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・ 諏訪大社四社の参道や沿道のまち並みの修景と住民協定制度を活用した景観の維持向上
- ・ 御柱祭の舞台（曳行路、木落し公園（茅野市）、木落し坂（下諏訪町）等）周辺の景観育成
- ・ 主要な道路沿いや商店街の景観育成等、主要な通りやエリアにおける沿道型の景観育成
- ・ 身近な景観における緑化や花づくり、清掃や美化活動等の住民主体の景観育成の支援

② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 甲州街道に点在する歴史的建造物の保全や地場産業（酒造等）の活用
- ・ 諏訪湖周に広がる製糸工業等の産業遺産や片倉館の再生、歴史的なまち並みの整備、保全
- ・ ハケ岳山麓にみられる坂本養川堰による開墾の歴史や踏まえた米や高原野菜等のストーリーづくり

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 伊那広域景観エリアの景観育成方針

伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

## 1. 伊那広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴

- 中央アルプス、南アルプスの3000m級の山並みに挟まれ、南北に流れる天竜川沿いの伊那盆地（伊那谷、伊那平）に市街地・集落地を形成している。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 伊那谷にはJR飯田線、国道153号、中央自動車道が通り、エリアの主要な交通軸を形成している。
- 伊那市街で交差する国道361号は木曽方面、秋葉街道と並走する国道152号は茅野・大鹿方面のヘアアクセス路線となっている。
- 信州伊那アルプス街道や信州みのわ花街道（日本風景街道）、伊那西部広域農道沿いには、美しい花々や山並み、田園風景が広がっている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

- 伊那谷の主要な河川である天竜川には、国内最大規模の河岸段丘、田切地形が広がり、独特の景観を作り出している。
- 天竜川の支流である三峰川上流に高遠湖・美和湖やもみじ湖等美しい景観を作り出している。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 戦国時代にかけて秋葉街道と杖突街道の結節点に高遠城とその城下町が形成された。現在の城址公園は、タカトオコヒガンザクラが群生する桜の名所となっている。
- 江戸時代に伊那街道（三州街道）が開通すると商人や庶民の往来が増え、伊那郡宿では本陣や問屋等のまち並みを形成したほか、中尾歌舞伎、古田人形芝居、羽広獅子舞等の伝統芸能が大成した。

### ○産業の景観

- 天竜川沿いの肥沃な平野部を利用した県下有数の米どころである他、後背地に広がる平坦な河岸段丘部では、複合経営として果樹や野菜、花卉栽培も盛んである。
- 12月には伝統的なざざ虫漁が解禁され、天竜川での冬の風物詩となっている。

### 大切にしたい特徴

中央・南アルプスの自然と眺望の景観／河岸段丘と天竜川水系の河川・水辺景観／複雑な地形を活かした農業・田園の景観／旧街道や城下町に息づく歴史・文化的景観／広域交通軸からの車窓風景と風景街道沿いの雄大な景観／伝統行事・芸能の景観／四季折々の花の景観

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- 天竜川や三峰川、高遠湖や美和湖等の水辺景観
- 河岸段丘と田切地形
- 中央アルプスと南アルプスの山並み
- 伊那谷の田園風景(稲作、果樹、野菜等)
- 三州街道の宿場町と高遠城下町のまち並み
- アルプス街道、みのわ花街道、広域農道沿いの景観
- JR飯田線、国道153号の沿道景観



高遠城址公園の桜と南アルプスの山並み(伊那市)



中央アルプス千畳敷カール(駒ヶ根市)



小野宿問屋(辰野町)



信州みのわ花街道(箕輪町)



千人塚城ヶ池(飯島町)



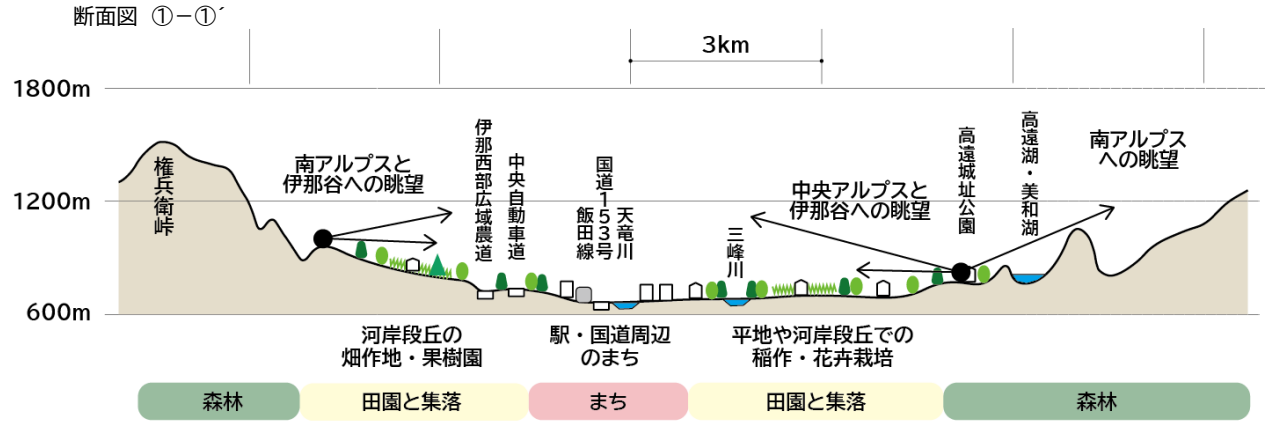
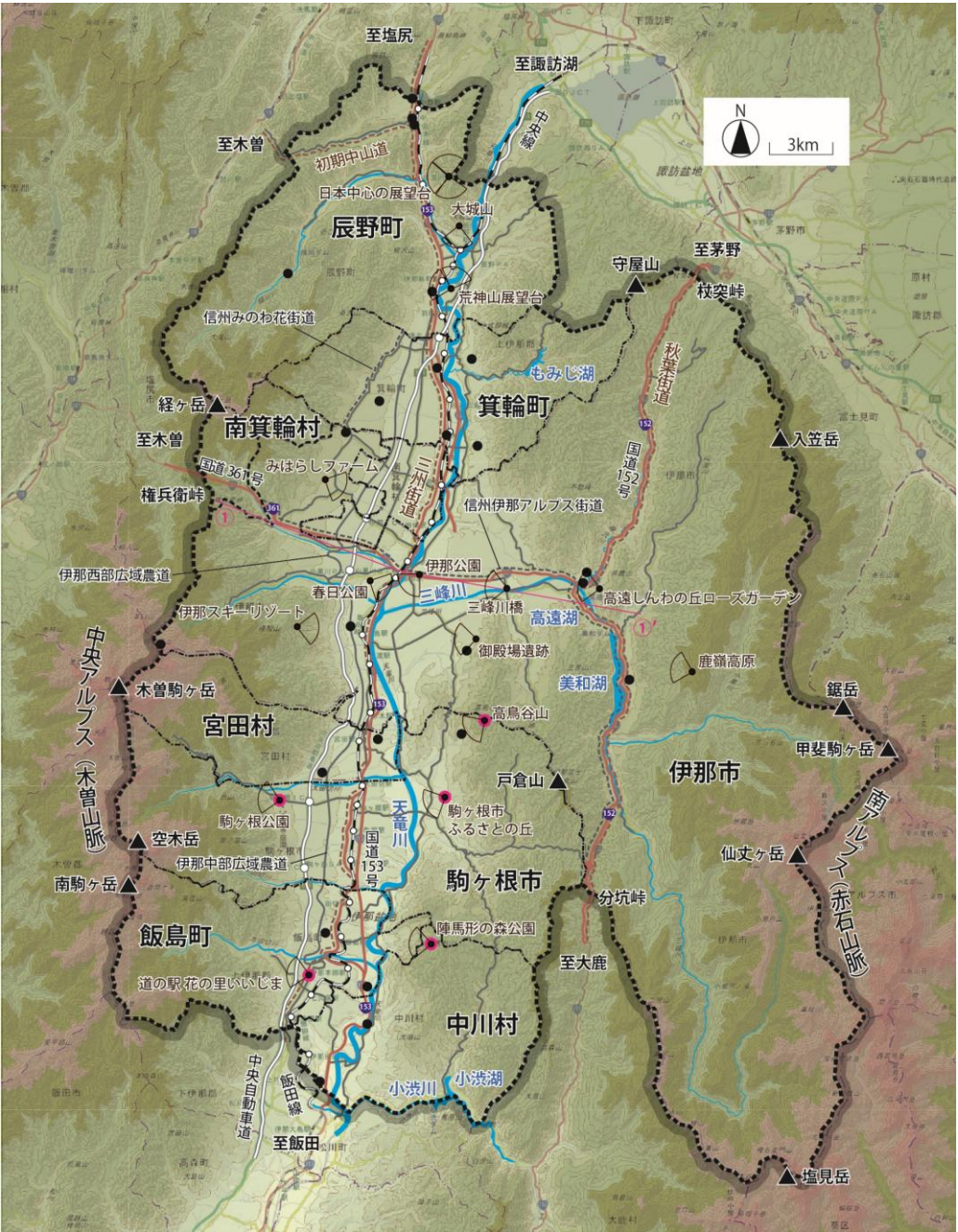
「黄金の波」の田園(南箕輪村)



飯沼の棚田(中川村)



宮田の田園風景(宮田村)



2. 伊那広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- 中央アルプス・南アルプスと山々に抱かれた雄大なへ伊那谷の眺め、地形を縁取る天竜川の河岸段丘や田切地形、平野と段丘上に広がる田園風景、三州街道や高遠城下町、受け継がれてきた伝統芸能等の歴史・文化的資源の維持・保全・活用を図る。
- 住民協定等の景観育成によって地域住民の暮らしを豊かにするとともに、関係人口や移住・定住者を増やし、景観育成に向けた積極的な支援を行っていく。
- 既往団体と連携し、観光や農業等の視点も踏まえながら広域景観としての魅力を高め、エリアの価値向上や地域の活性化を目指す。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- 山々や高台から伊那谷を望む景観（大城山、陣馬形の森公園等）
- 伊那谷の田園風景と遠景の中央・南アルプスの山並みを望む景観（みはらしファーム、駒ヶ根市ふるさとの丘等）
- 交通景観軸から連続的に望むシークエンス景観（信州伊那アルプス街道、伊那西部広域農道沿い等）
- 歴史的まち並みと背後の山並みが一体となった眺望景観（高遠城下町等）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:田園の拡がりと周囲の山並みによる伊那谷らしい原風景の景観保全

- 伊那谷を望む視点場や滞留空間の整備、山並みや田園風景と調和した屋外広告物のルールづくり（市町村独自の屋外広告物条例との連携）
- 一体感ある広域景観の保全育成に向けた建築物・工作物の誘導
- 稲作・野菜・果樹等多様な農業景観、桜・花桃・赤そば等花の景観、街道・城下町に残る歴史的な資源の保全・活用等

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:伊那谷の山並みや天竜川と一体となった南北を貫く景観軸

- （天竜川、JR飯田線、国道153号、三州街道、風景街道（信州伊那アルプス街道、信州みのわ花街道）伊那中部広域農道、高速道路（中央道）とその周辺）
- リニア中央新幹線開通を見据えた広域交通軸（JR飯田線、国道153号、三州街道、天竜川）における一体感あるシークエンス景観の育成
- NPO法人や民間事業者と連携した沿道の景観育成の推進（統一感のある案内サインの普及促進等）
- 飯田広域景観エリアと連携・連続した広域的な案内サイン整備の推進
- 高速道路の沿道における屋外広告物のルールづくり

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

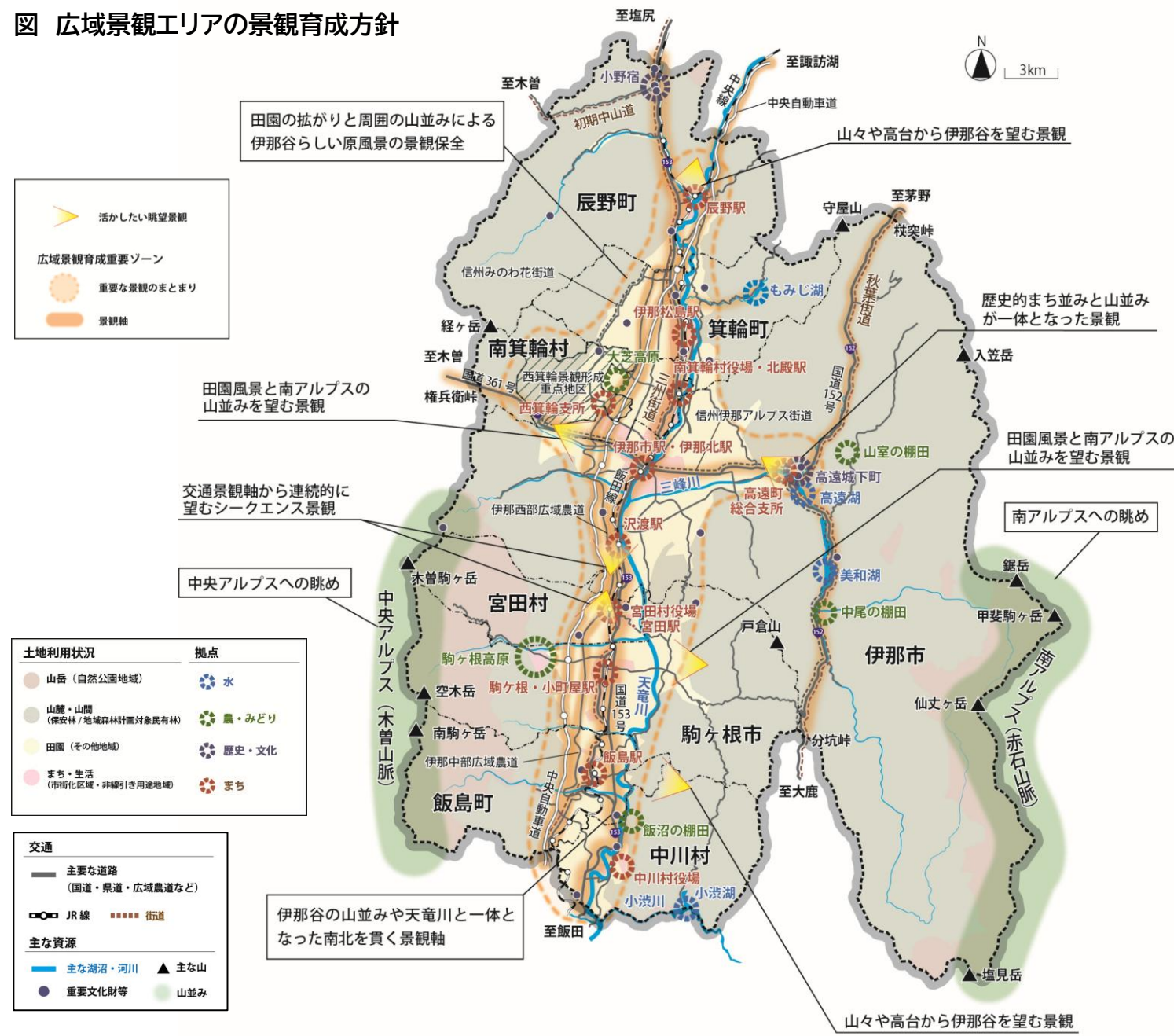
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- 住民協定等を活用した住民主体による身近な景観づくりの支援と担い手の育成
- 移住定住支援を活用した空き家・耕作放棄地の発生の抑制と田園・住環境の維持向上

② 歴史・文化的資源や農業等を活用したブランディング

- 観光部局と民間の活動団体や、農政部局と連携した観光・農業の振興とブランディング化
- 高遠城下町や三州街道、秋葉街道等歴史的資源の整備保全、伝統行事・芸能の景観等地域に根付く固有の文化を継承する担い手の育成・支援
- 風景街道や文化的な保存団体との連携による歴史・文化的景観の保全・育成

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 飯田広域景観エリアの景観育成方針

飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下篠村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

## 1. 飯田広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 中央・南アルプス及び伊那山地に囲まれた伊那谷と天竜川、その周囲に市街地・集落地を形成し、伊那谷北部は平野部と河岸段丘、天竜川支流による谷を縁どる緑の連なり（段丘林）は田園風景の広がりとともに伊那谷を特徴づけている。
- 南部は谷が狭まり、南西部の矢作川源流域とともに山深さを感じる景観となる。
- 「ふるさとの見える（丘）」として段丘上の見晴らしの良い公園やレクリエーション施設が指定され、平野部の田園・市街地と背景の山並みの他、果樹や棚田の風景等が視対象となっている。この他に、南部の高台等からアルプスの山並みや天竜川への眺め、美しい星空が特徴的である。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- エリア中央を南北に通るJR飯田線、国道151号・国道153号が主要な交通軸を形成する他、中央自動車道がエリア西部を通る。
- 飯田市街地にリニア長野県駅（仮称）開業を控えている他、三遠南信自動車道の整備が進められている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

- 天竜川は、変化にとんだ河川景観を有し、国指定名勝・天龍峡や、平岡ダム、羽衣崎等の景勝地、遊歩道、川下り舟、カヌー等水辺のレクリエーションの場を提供し、エリア内外の人々に親しまれている。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 飯田市街地には大火でまち並みは失われたものの、城下町の面影を残す基盤状の町割が見られる。
- 秋葉街道（国道152号）や三州街道（国道153号）、大平街道等の旧道があり、旧宿場町が分布している。
- 山間にも集落が分布し、秘境といわれる下栗の里等山の生活文化を感じる景観が見られる。
- 民俗芸能の宝庫として大鹿歌舞伎、下黒田の人形芝居等があり、神社境内等に設えられた舞台と共に大切に保存されている。

### ○産業の景観

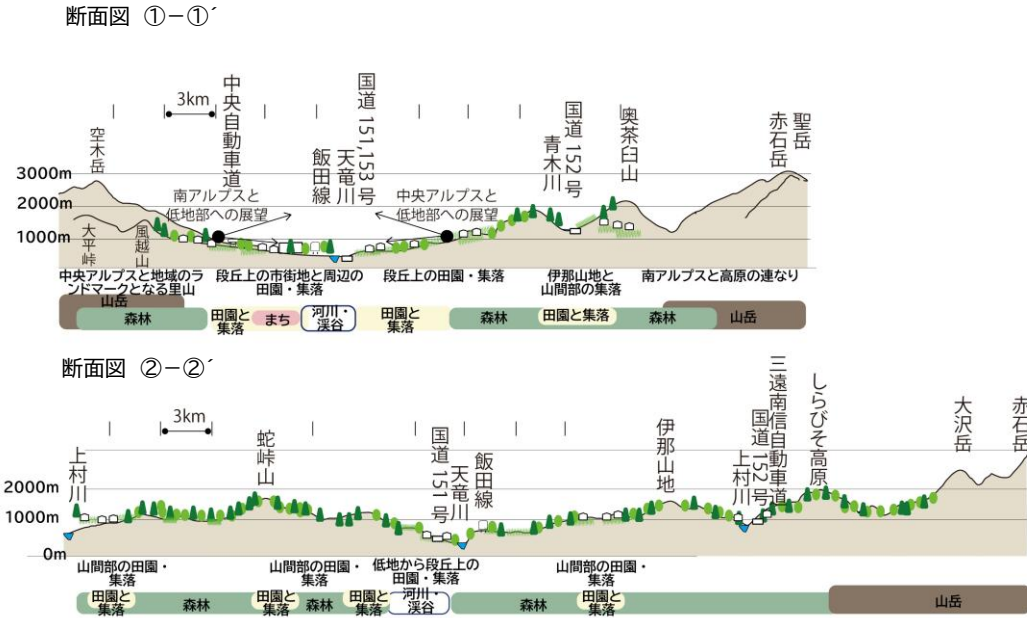
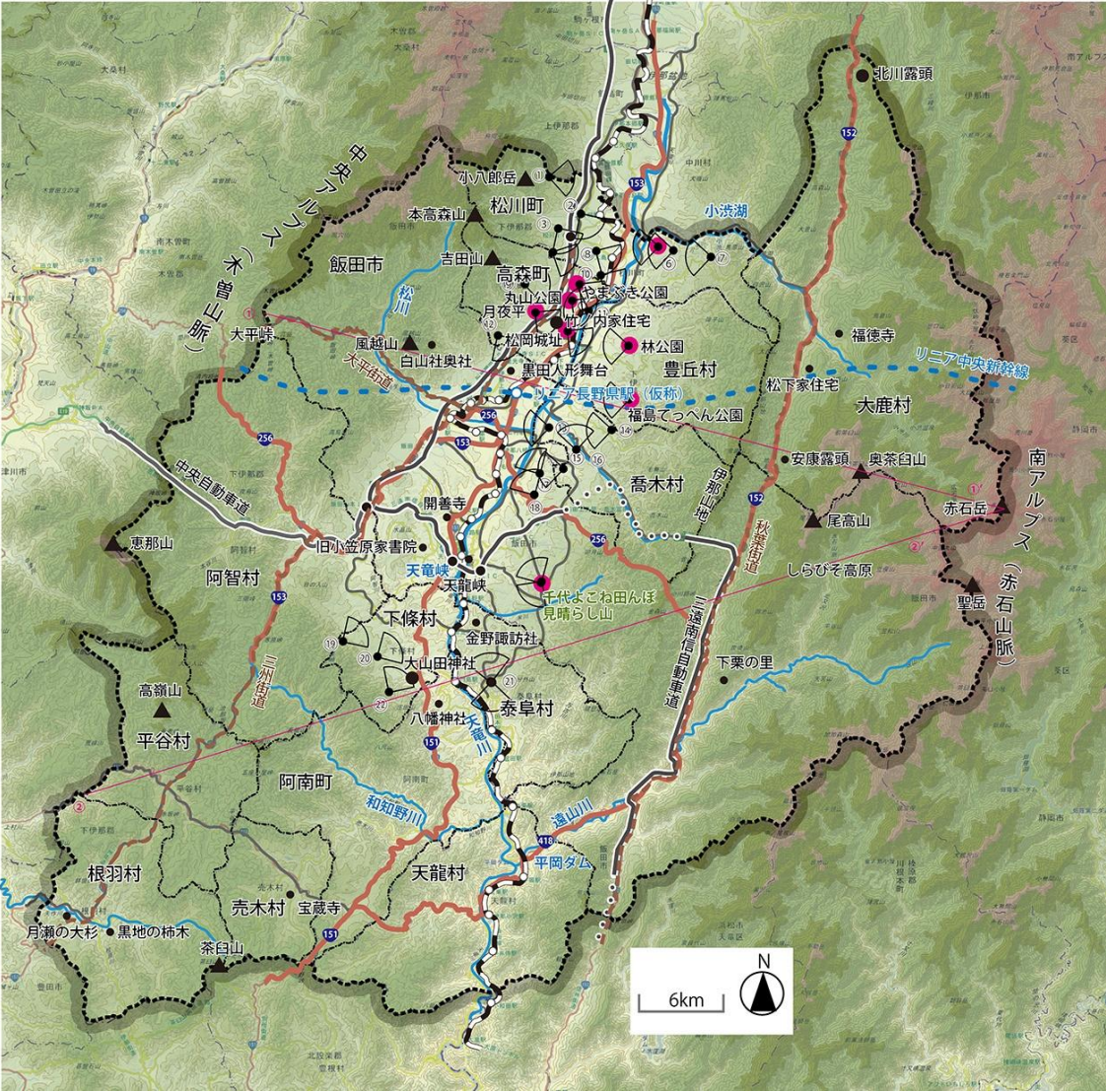
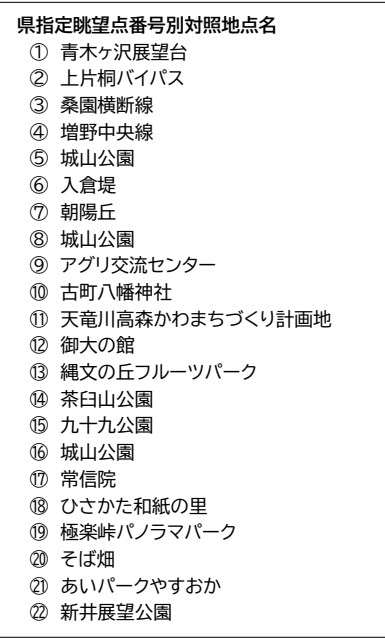
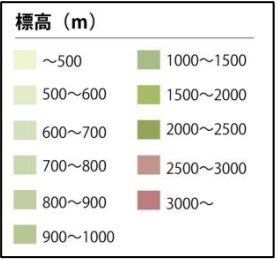
- 平野部の水田、傾斜地の棚田、水路、水脈、竜東・竜西一貫水路、段丘上の果樹（市田柿等）や花き栽培、山地部の牧場等多彩な農の風景が見られる。
- 南部を中心として豊かな森林が広がり、県認証の根羽スギ・ヒノキ等の木材及び加工品を産出している。

### 大切にしたい特徴

伊那谷から連なる中央・南アルプス、天竜川を軸とした広い伊那谷の眺め／段丘林や田切に縁取られた段状の生活・農業地のまとまり／中央構造線等複雑な地形が織りなす多彩な自然と農林業の景観と食や生活文化／サイクリングを軸としたエリアトレイルで体験できる景観／旧街道や山間部等に息づく集落と伝統芸能の景観

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- 伊那谷を挟む中央アルプス、南アルプス、伊那山地の山並み
- 風越山等の自然豊かで雄大な山並み
- 伊那谷の風景を特徴づけている段丘林の連なり
- 樹林に縁取られた美しい田園風景
- 天龍峡等河川の景勝地



田園・市街地と山並みの景観（豊丘村、高森町、飯田市付近）



飯田市街地と飯田城、風越山



天龍峡（飯田市）



松源寺の柿すだれ（高森町）



下栗の里（飯田市）



大鹿歌舞伎（大鹿村）



泰阜の田園風景（泰阜村）



横旗の棚田（根羽村）

2. 飯田広域景観エリアの育成方針

1) 広域景観育成の基本目標

- 伊那谷から連なる中央・南アルプス、天竜川を軸とした広い伊那谷の眺めと、段丘林や田切に縁取られた段状の生活・農業地のまとまり、中央構造線等複雑な地形が織りなす多彩な自然と農林業の景観を一体的に守り、食や生活文化、レクリエーション、旧街道や山間部等に息づく集落と伝統芸能の景観の育成。
- 飯田市に建設中のリニア長野県駅（仮称）は、新たな都市的な拠点として駅周辺やアクセス道路の良質なまち並みの形成や伊那谷・アルプスへの眺めを確保する。

2) 広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- 南・中央アルプスと共に下伊那の広がりを見晴らす東西の眺望景観（例：林公園、月夜平等）
- リニア長野県駅（仮称）から北東～南東方向の山並みへの眺望景観（例：リニア長野県駅（仮称）駅舎等）
- 南部の高台からアルプスや天竜川への眺望景観（例：新井展望公園等）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：リニア長野県駅（仮称）を核とした広域景観育成の推進

- 新駅舎や駅前広場を中心に、周囲の山並みと一体となった長野県の玄関口を象徴する空間づくり（信州の玄関口としてふさわしい施設・空間デザインの検討）
- リニア長野県駅（仮称）周辺地域への連続性や調和に配慮した景観誘導として、建築物・工作物の景観に関するルールづくりの検討による広域景観の育成（重点地域の検討等）

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：山並みや天竜川に並走する景観軸に沿った景観育成

（三遠南信自動車道、国道151号・国道152号・国道153号、伊那南部広域農道、天竜川、JR飯田線等）

- 遠州街道、三州街道、秋葉街道等原道の歴史にちなむ施設や伝統芸能の場等の景観資源への配慮
- 三遠南信自動車道の全線開通に向けた沿道における屋外広告物の規制誘導の検討
- リニア長野県駅（仮称）から連続する周辺市町村を含めた統一した案内サインの検討

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

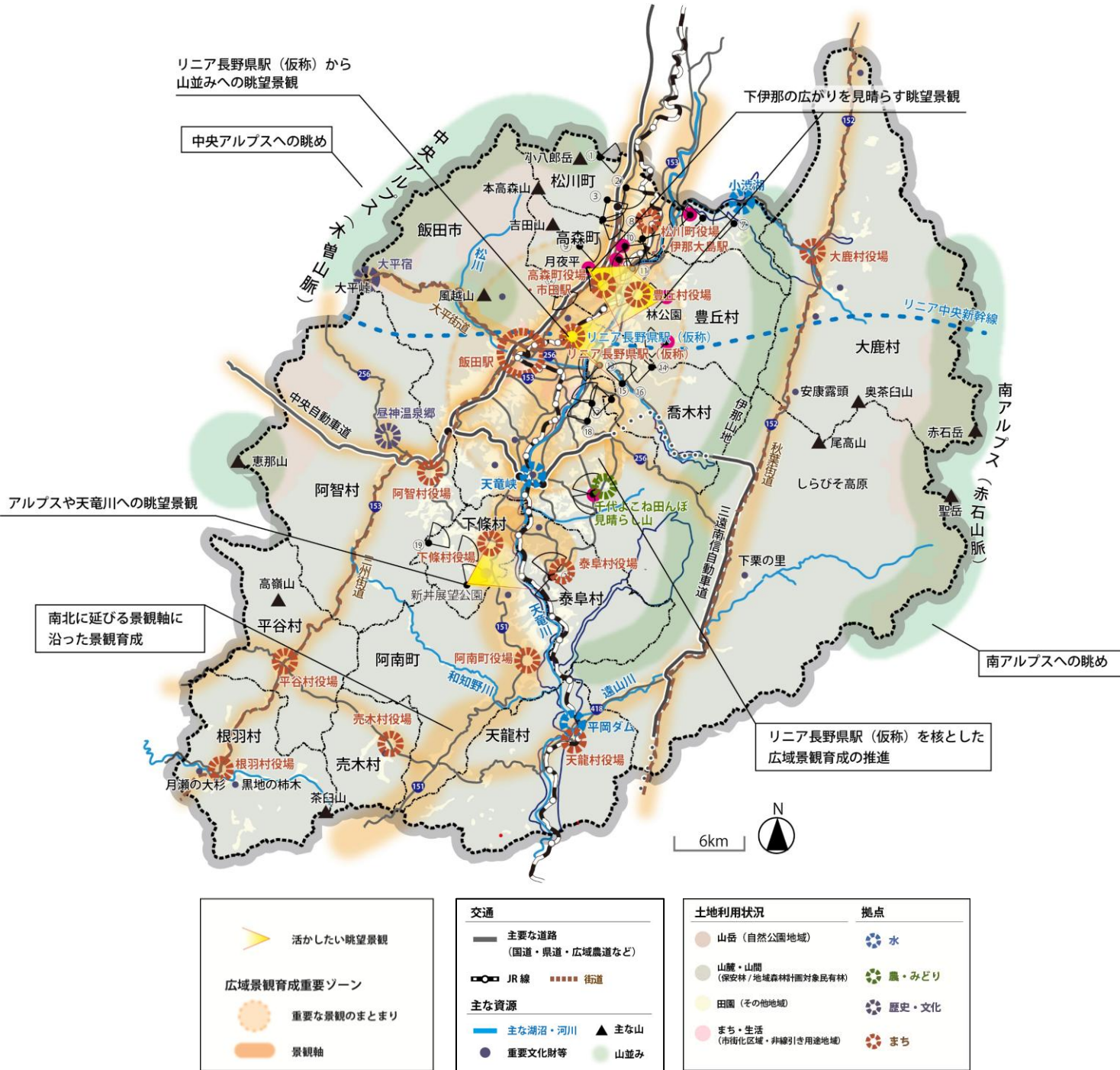
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- 地域住民や店舗営業者等で協力して運営してきた既定の住民協定・住民活動の支援及び締結地区拡大の誘導
- 各市町村の土地利用施策や地域住民のまちづくり活動支援と連携した景観育成

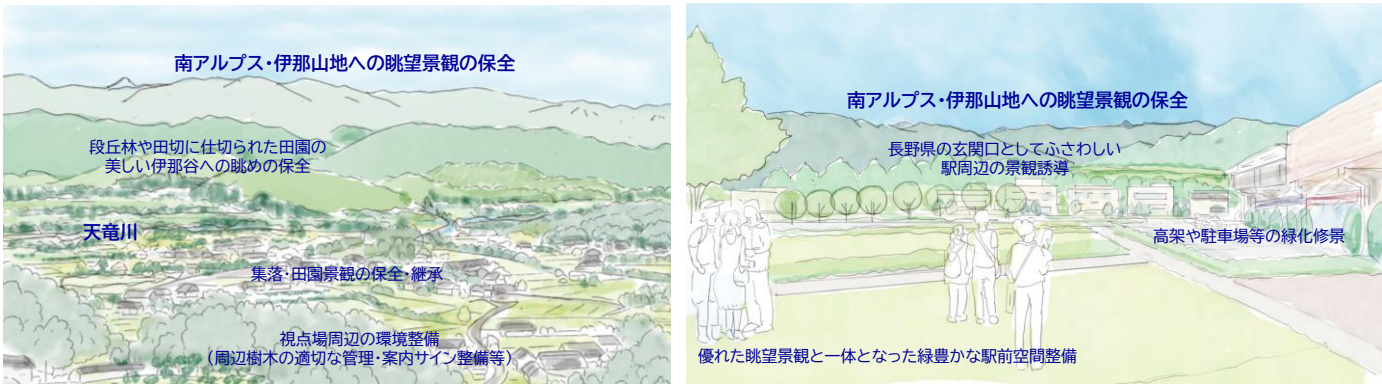
② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり  
→エリアの特色ともなっている各地域の伝統芸能のガイド・情報連携やイベント連携等
- 特産物と景観を結びつけるエリア振興策（情報交換や協力体制構築）の検討  
→伊那南部広域農道（南信州フルーツライン）等、生産地の特徴を活かした景観育成等  
→農の景観が取り巻く眺望点（アルプスビューファームズ部奈等）を活かした地場食材体験の場づくり
- サイクリングによるアクティビティと結びつけた景観まちづくりの検討  
→中央構造線サイクリング等の自転車イベントと連携したPR活動の充実  
→エリア内のサイクリング関連施設でのデザイン協調や名産販売施設等での連携

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 木曽広域景観エリアの景観育成方針

塩尻市(旧檜川村)、上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村

## 1. 木曽広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 中央アルプスと御嶽山系の3000m級の山々に挟まれ、総面積の約93%を森林が占める。
- 木曽川の浸食によって形成された南北約60kmにわたりV字谷地形（木曽谷）が連続する。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 木曽川沿いの南北にJR中央本線と国道19号が、東西に国道361号が通り、主要な交通軸を形成している。
- 旧中山道が木曽谷の限られた谷地を縫うように連続し、開田高原にかけての山間を通る旧飛騨街道や、霊峰・御嶽山へ続く御嶽古道等が連なる。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

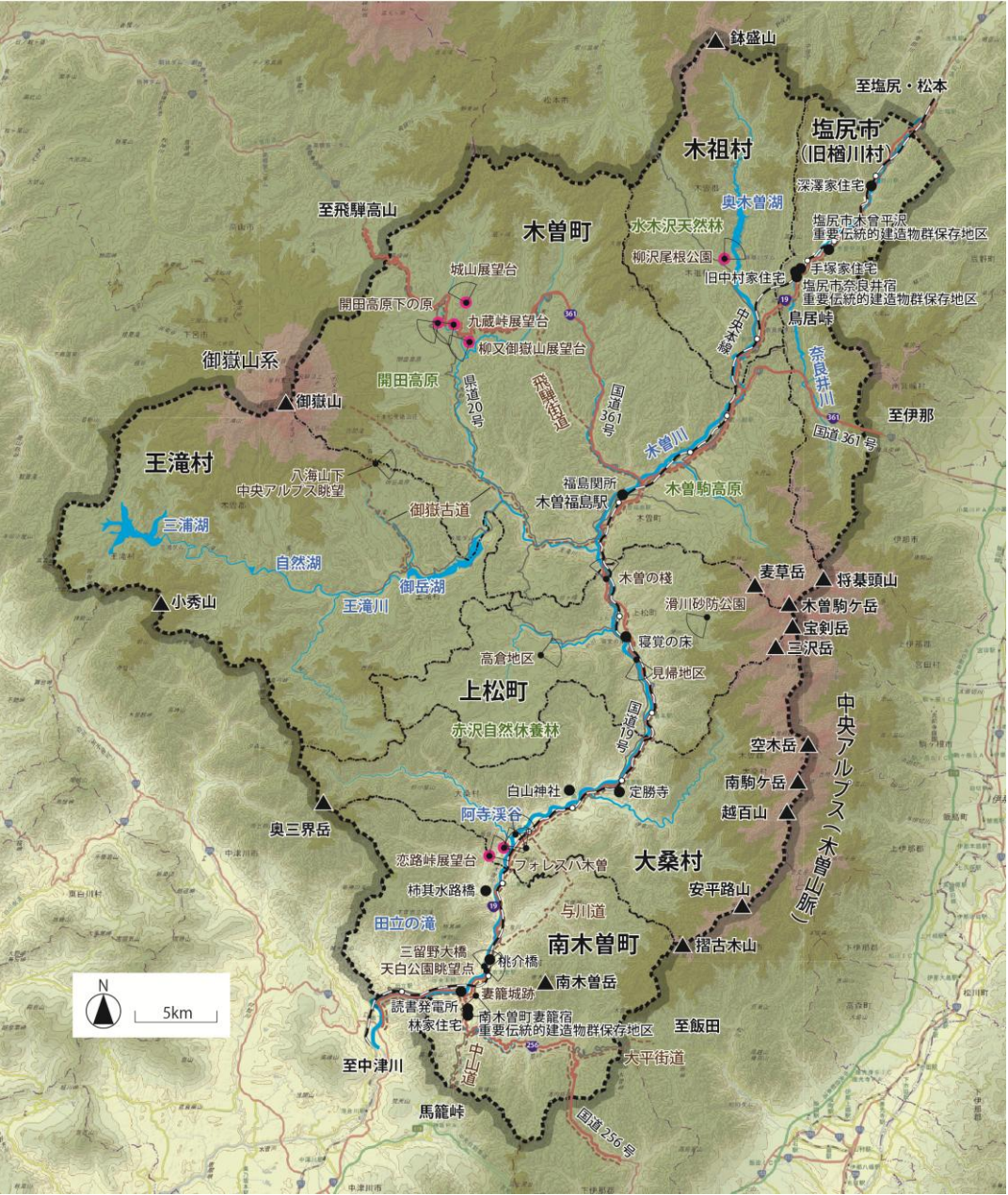
- 木曽谷の主要な河川である木曽川は、寝覚の床といった景勝地等独特の河川景観を作り出している。
- 山間部では奥木曽湖や自然湖、阿寺溪谷や柿其溪谷等、急峻な自然地形が美しい景観を作り出している。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 室町時代後期には集落の形成が始まり、江戸時代に入り中山道が整備されると、木曽路（旧中山道のうち贄川宿〜馬籠宿間の俗称）は交通の要衝として11の宿場町が形成された。
- 重要伝統的建造物群保存地区に指定されている妻籠宿、奈良井宿、木曽平沢をはじめ、木曽路の歴史的なまち並みは重要な観光資源となっている。

### ○産業の景観

- 開田高原を中心とした高原地帯で栽培されるブランド野菜「御嶽はくさい」等の栽培をはじめ、木曾かぶ（赤かぶ）を乳酸発酵させた伝統的な発酵食品「すんき漬け」等、独自の食文化が根付いている。
- 豊富な森林資源を活かした林業が盛んであり、「木曽ヒノキ」はその美しい景観から日本三大美林に位置づけられている。また、木曽漆器等の地場産業やかつての森林鉄道を転用した観光列車等、製造業や観光業等の地域産業と深い関りがある。
- 豊富な水量と落差の大きい木曽川の地形を生かした水力発電施設が点在し、国の重要文化財や近代化産業遺産に指定されている。



### 大切にしたい特徴

中央アルプス・御嶽山系への眺め／複雑な地形が織りなす木曽谷・木曽川沿いの自然景観／高原や山間部に広がる農林業の風景／地域で受け継がれてきた地場産業、祭り・民族芸能の景観／旧街道に息づく宿場町の歴史・文化的景観／木曽川沿いの近代遺産

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- 木曽川、寝覚めの床、阿寺溪谷等の水辺景観
- 御嶽山・中央アルプス(木曽山脈)の山並み
- 木曽谷の棚田・開田高原の田園風景
- 旧中山道宿場町のまち並みと背後の山並み
- JR中央線、国道19号、国道361号の沿道景観



奈良井宿アイスカンドル祭り(塩尻市)



赤沢自然休養林と森林鉄道(上松町)



妻籠宿のまち並み(南木曽町)



御嶽山と開田高原(木曽町)



御嶽はくさいの栽培風景(木祖村)



御嶽古道(王滝村)



阿寺溪谷(大桑村)

2. 木曽広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- ① 本エリアの急峻な地形が織りなす寝覚めの床、阿寺溪谷、自然湖等の自然景観、御嶽山や中央アルプスへの眺め、御嶽山麓に広がる開田高原の景観、旧中山道の宿場町や山間の林業が育んできた歴史・文化的資源の維持・保全・活用を図る
- ② 地域住民の暮らしを豊かにするとともに、既往団体等と連携し、観光や農林業と連携して広域景観としての魅力を高め、本エリアの価値向上や地域の活性化を目指す
- ③ インバウンドを含めた多様な来訪者に親しまれ、観光資源としても重要な場所や資源を周囲の景観と調和するよう良好に保全・創造するとともに、これらをネットワークし、エリアを巡る楽しみを育成する。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- ・ 御嶽山と山麓の開田高原を望む眺望景観（例；柳又御嶽山展望台、九蔵峠展望台等）
- ・ 木曽谷から中央アルプスを望む眺望景観（例；恋路峠展望台、阿寺橋等）
- ・ 木曽川沿いの自然を望む眺望景観（例；天白公園眺望点、寝覚めの床等）
- ・ 宿場町のまち並みと背後の山並みが一体となった眺望景観（奈良井宿、妻籠宿、福島宿等）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：開田高原(御嶽山麓)周辺

- ・ 景観に影響を及ぼす開発行為に対する景観に関するルールづくりの検討、既存の景観に関連する取組との連携（例；木曽町開田高原景観指針）
- ・ 高原の栽培景観と生業が一体となった集落・田園景観、山並み・地形等特徴的な景観の保全・育成
- ・ 開田高原を望む視点場の滞留空間や案内サインの整備

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：木曽川、JR中央線、国道19号、中山道とその周辺

- ・ 木曽谷の一体感ある広域景観の育成に向けた建築物等の景観に関するルールづくりの検討（重点地域検討）
- ・ 宿場ごとの伝統的な建築様式・まち並みの保存・継承
- ・ 木曽谷の広域交通軸（JR中央本線、国道19号、旧中山道）における屋外広告物のルールづくり
- ・ 木曽路の統一案内サインの維持・保全

●対象地域：景観拠点へのアクセス道路・街道・河川

（国道361号、県道20号、県道26号、県道473号、飛騨街道、御嶽古道、与川道、木曽森林鉄道跡、王滝川等）

- ・ 自然景観と調和した沿道沿いの車窓景観、シークエンス景観の育成
- ・ 屋外広告物の統一感を持ったルールづくり、インバウンドにも対応した案内サインのデザイン検討
- ・ 街道筋や森林鉄道跡に残る歴史的な資源の保全・活用等

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

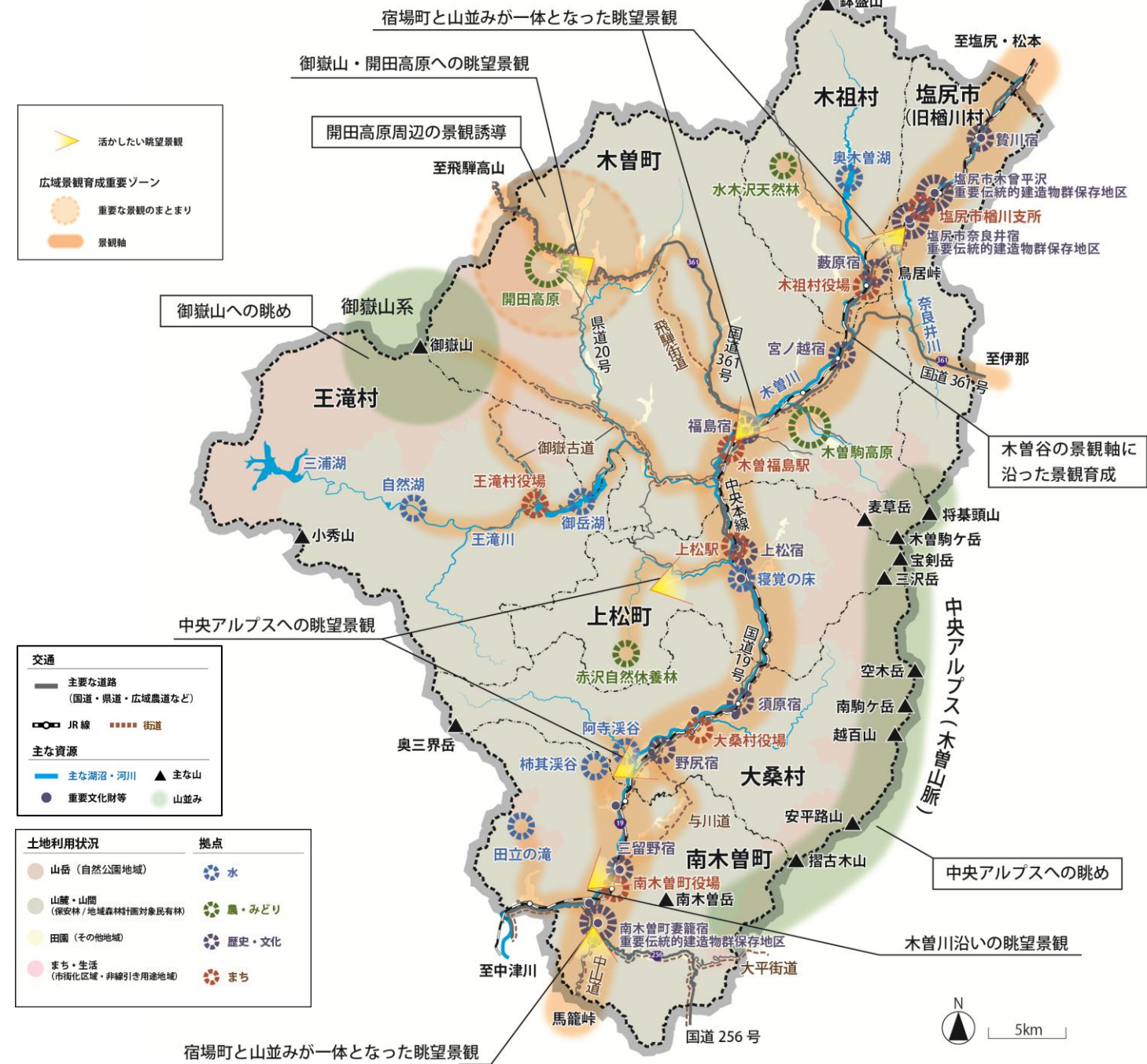
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・ 既存住民協定地区の協定運営等住民活動の支援と担い手の育成
- ・ 協定制度を活用した宿場町周辺のまち並み景観育成と住環境の向上（福島宿、宮ノ越宿、須原宿等）
- ・ 旧中山道沿いに連続する住民協定地区の広域的な連携

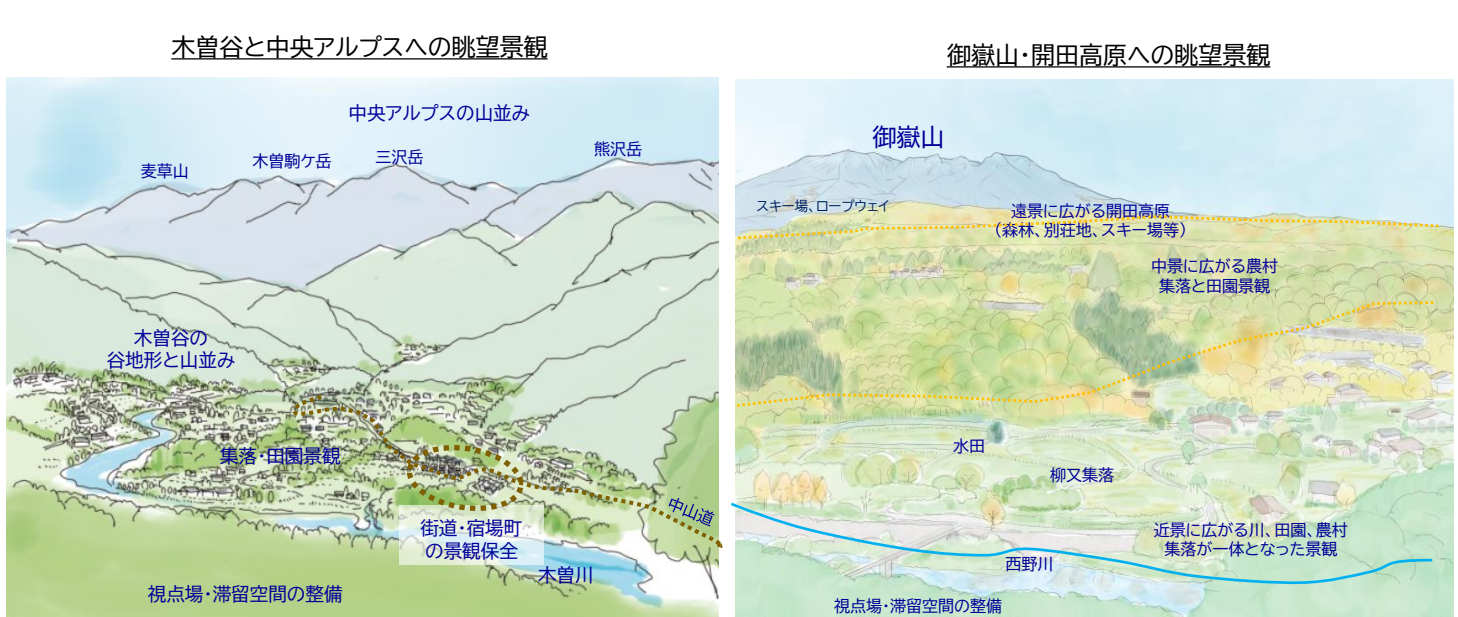
② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 広域的な協議体を通じた、各町村・地域住民活動の情報交換や協力体制の構築
- ・ 木曽路に点在する歴史的資源（宿場町、発電所等）や自然景観（山岳、森林、溪谷、湖等）の保全と、これら資源を活用したアクティビティの創出やストーリーづくりによる広域的ツーリズムの推進
- ・ 木曽エリアに受け継がれてきた文化的景観を継承する担い手の育成・支援と新規ブランド開発による地域振興（開田高原周辺の農業景観や木曽馬の飼育風景、木曽山中の林業や木曽漆器・ろくろ細工等地場産業、木曽踊りや須原ばねそ、らぼっしょに代表される祭り・民俗芸能等）

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 松本広域景観エリアの景観育成方針

松本市、塩尻市(旧檜川村地区以外)、麻績村、山形村、朝日村、筑北村

## 1. 松本広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 東西を北アルプス（3,000m級）、上高地や美ヶ原（2,000m級）に挟まれた松本平に田園集落地及び松本から塩尻にかけて市街地を形成している。
- 北部は聖高原の山間地域として麻績川、安坂川周辺に田園集落地が形成され、西部山麓部には平坦な田畑が広がっている。
- ビューポイントとして、塩尻市の高ボッチ高原の360度の眺望が開けた山頂からは、北アルプスの山々、諏訪湖、南アルプス、富士山までの景色を楽しむことができる。また、朝日村役場・鉢盛山や唐沢そば集落付近の高台から松本平が望め、聖高原付近からは善光寺平や北アルプスといった、広域景観エリアを超えた眺めを楽しむことができる。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 国道19号が主要な幹線道路であり、北アルプス方面（国道147号）、高山方面（国道158号）、諏訪方面（国道20号）の4方向を結んでいる。また国道19号と並走する長野自動車道は中央自動車道と上信越自動車道を結んでいる。
- 松本市・塩尻市にまたがる位置に松本空港が整備されており、信州の空の玄関口となっている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

- 槍ヶ岳等に源を発する梓川は、田川、鎖川、女鳥羽川等の支流を集めた奈良井川と合流し、犀川となる。
- 北部の麻績村を流れる麻績川は、筑北村を流れる東条川や別所川と合流し、犀川に流入している。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 塩尻市桔梗ヶ原には、縄文時代から平安時代まで人が暮らしていたとされ、日本三大遺跡に数えられている国史跡平出遺跡がある。
- 国宝松本城及び城下町には中町通りのまち並みや近代の建築物等歴史を感じさせる資源が分布している。
- 旧道として中山道、千国街道、善光寺街道が挙げられ、社寺や町家等往時を偲ばせる資源が分布している。

### ○産業の景観

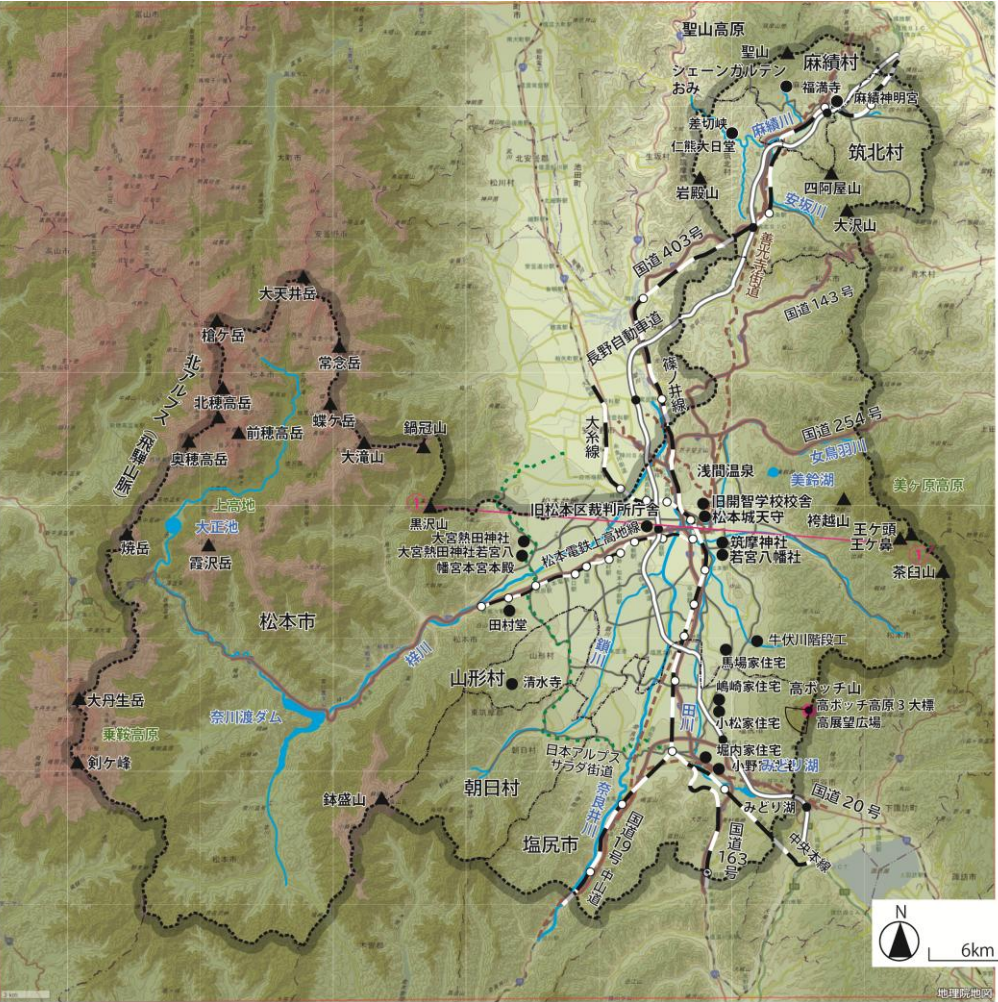
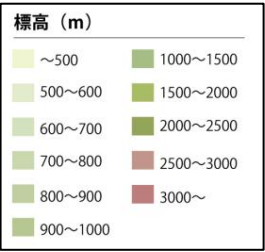
- 塩尻市桔梗ヶ原は、全国的に知られたブドウの産地であり、信州ワインバレーの一翼を担っている。国産ワインの需要拡大を背景として、片丘地区にもブドウ畑の拡大が見られる。
- これらと朝日村の高原野菜、山形村の長芋、波田のスイカ等特産物の農村風景を結ぶ日本アルプスサラダ街道が整備されている。
- 梓川付近では散居村・水稻の栽培風景が広がり、大町・安曇野エリアの屋敷林と空間的つながりがある。

### 大切にしたい特徴

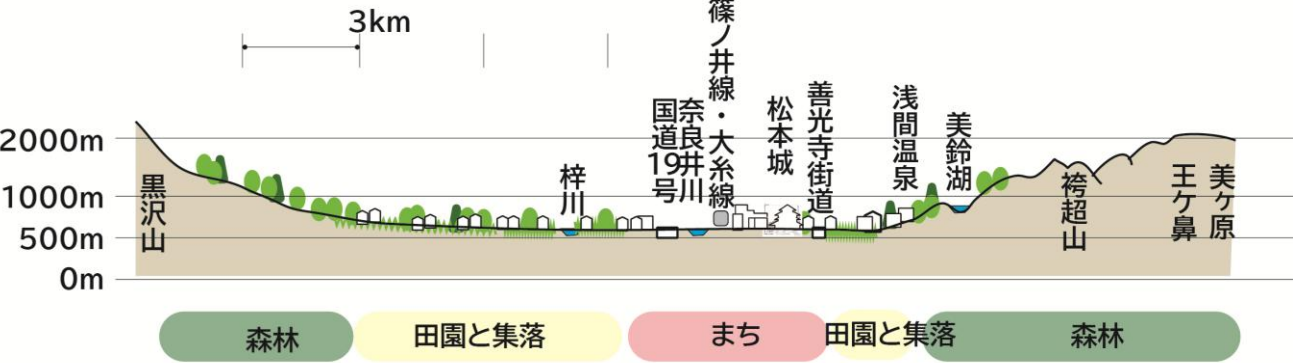
高台や高原からの北アルプス・松本平への雄大な眺め／山並みと一体となった農村風景や食の風景／国宝松本城・城下のまち並みと街道筋に広がる歴史・文化的景観／広域交通軸である国道19号や国道147号・長野自動車道や鉄道からの車窓の景観

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- 北アルプスの山並み／塩尻周辺から望む八ヶ岳
- 美ヶ原や高ボッチ高原、鉢盛山から望む松本平
- 聖高原付近から望む善光寺平
- 松本城
- 犀川と周辺の田園風景



①—①' 断面



松本城と北アルプス(松本市)



高ボッチ高原からの眺め(塩尻市)



聖高原と北アルプス(麻績村)



日本アルプスサラダ街道(山形村、朝日村他)



河鹿沢の野沢菜畑(筑北村)

2. 松本広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- 北アルプス上高地、美ヶ原、聖山高原等多彩な自然環境、安曇野へと連なる松本平を中心として形成されてきた市街地、田園・集落地の一体性やつながり、景観の秩序を維持し、継承していく。
- 松本市の城下町を中心とした善光寺街道や中山道、千国街道の宿場・街道筋に残る歴史的資源を活かし、エリアの歴史的特徴を引き立てる。
- 交通の要衝地として主要道路や鉄道からのシークエンス景観を大切にし、エリアが持つ美しい景観イメージの維持や更なる醸成を図る。
- ワインバレーやサラダ街道を活かし、農村風景を食とともに味わう体験ツアー等、エリアの魅力をさらにPRしていく取組を検討する。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- 北アルプスや美ヶ原の山並みを中心に松本平と一体となった眺望景観（例：鉢盛山等）
- 八ヶ岳や遠方の山並みへの眺望景観（例：高ボッチ高原等）
- 聖高原から善光寺平への眺望景観

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：山並みを背景とした松本市街地・塩尻市街地及びこれを取り巻く松本平の広域景観の育成

- 松本平周囲の山並みを背景とした建築物等への眺望景観の確保
- 大町・安曇野エリアと連続する田園の屋敷林等の維持保全策の検討
- 田園景観と調和した沿道施設等（屋外広告物、太陽光発電施設等）の誘導

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：歴史的な街道筋や農と一体となった道路

（中山道、善光寺街道、日本アルプスサラダ街道）

- 旧街道を軸とした歴史・文化的景観の育成
- サラダ街道を軸とした農の景観のネットワーク化
- 建築物や屋外広告物の統一感を持った規制誘導、広域案内サインの整備

●対象地域：景観拠点へのアクセス道路・街道・河川

（国道19号・国道143号、高速道路(中央道)、JR中央本線・JR篠ノ井線等）

- シークエンス景観の育成、広域案内サインの整備
- 統一感を持った屋外広告物設置の推進（規制地域の検討や統一した案内サインの検討）
- 高速道路の沿道における屋外広告物のルールづくり（屋外広告物規制による統一感を持った景観誘導等）

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

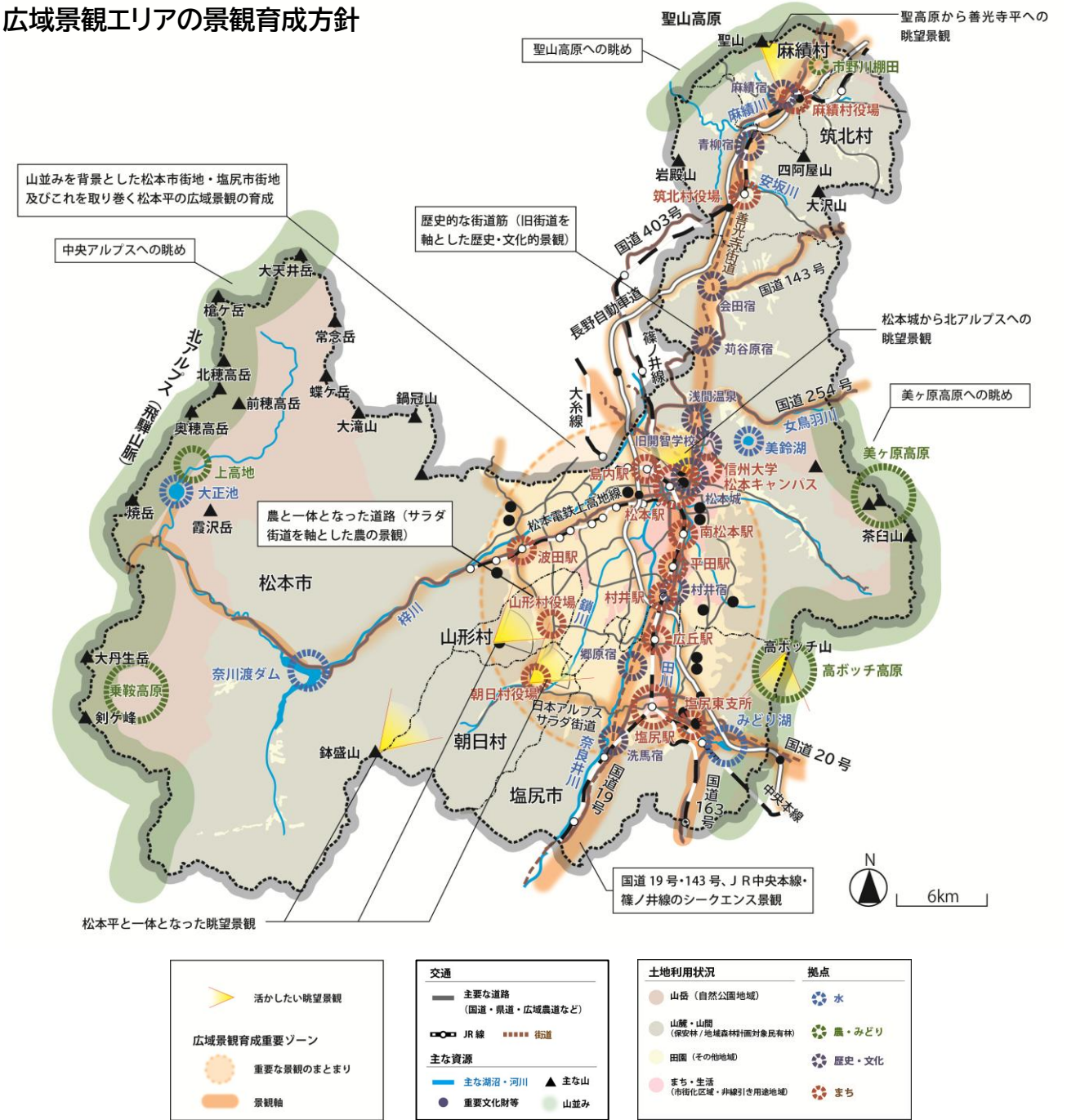
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- 既定の住民協定・住民活動の支援及び締結地区拡大の需要に応じた支援
- 里山や耕作地等での新たな宅地開発の動向を踏まえ、各市町村の土地利用施策や地域住民のまちづくり活動支援と連携した景観育成（住民協定活用 of の支援等）

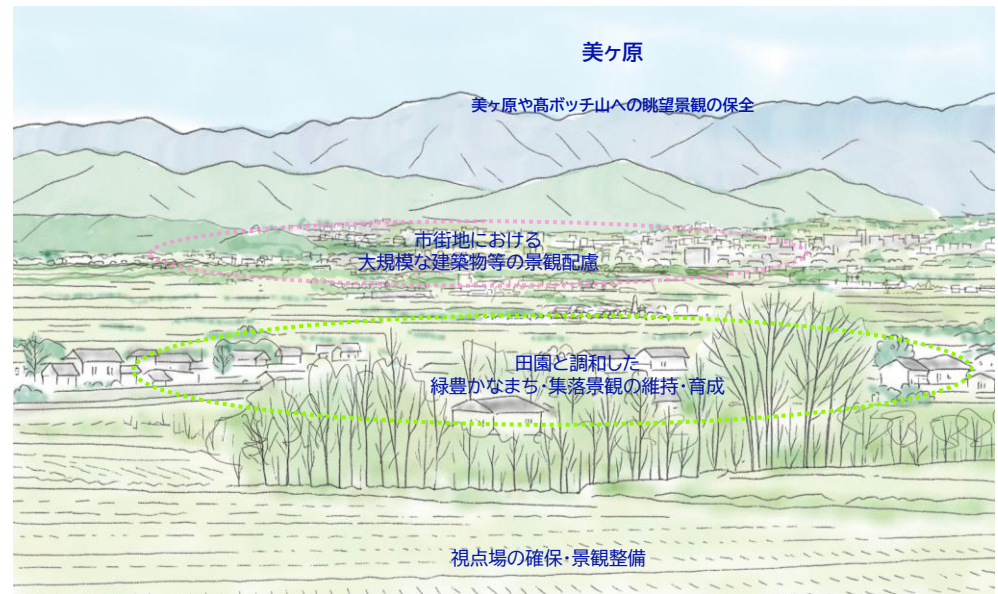
② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- 旧街道の歴史的・文化的な資産を活かした地域間交流等の促進  
→交通の要所であった地理的特性、旧街道ごとに見られる役割、複数の宿場や歴史的な建造物等をストーリー化し、歴史的資源の保全や地域間交流の促進を図る（中山道、善光寺街道、千国街道、野麦街道）  
→旧街道における統一サイン整備や景観を楽しむ場等新たな価値の検討
- 自然資源や特産物と景観を結びつけるエリア振興策の検討  
→「水」や「農作物」をテーマとした観光や生業と景観とつながりを強化し、新たなエリアの価値を創造

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 大町・安曇野広域景観エリアの景観育成方針

大町市、安曇野市、生坂村、池田町、松川村

## 1. 大町・安曇野広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- ・西は北アルプス 3,000m級と前衛2,000m級の山（西山）が、東は中山山地、千曲山地（東山）が連なり、安曇野と呼ばれる松本盆地北部の低地部を囲んでいる。
- ・これら東西の山並みを背景に、屋敷林・田園風景や果樹園、河川等の眺望や、上生坂の集落を望む眺望等が「ふるさとに見える（丘）」に指定されている。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- ・高瀬川流域は国道147号、県道51号、オリンピック道路、ＪＲ大糸線等南北の交通軸と、県道等の東西道路で構成され、犀川流域では国道19号、国道403号、JR篠ノ井線が地域の交通軸を担っている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

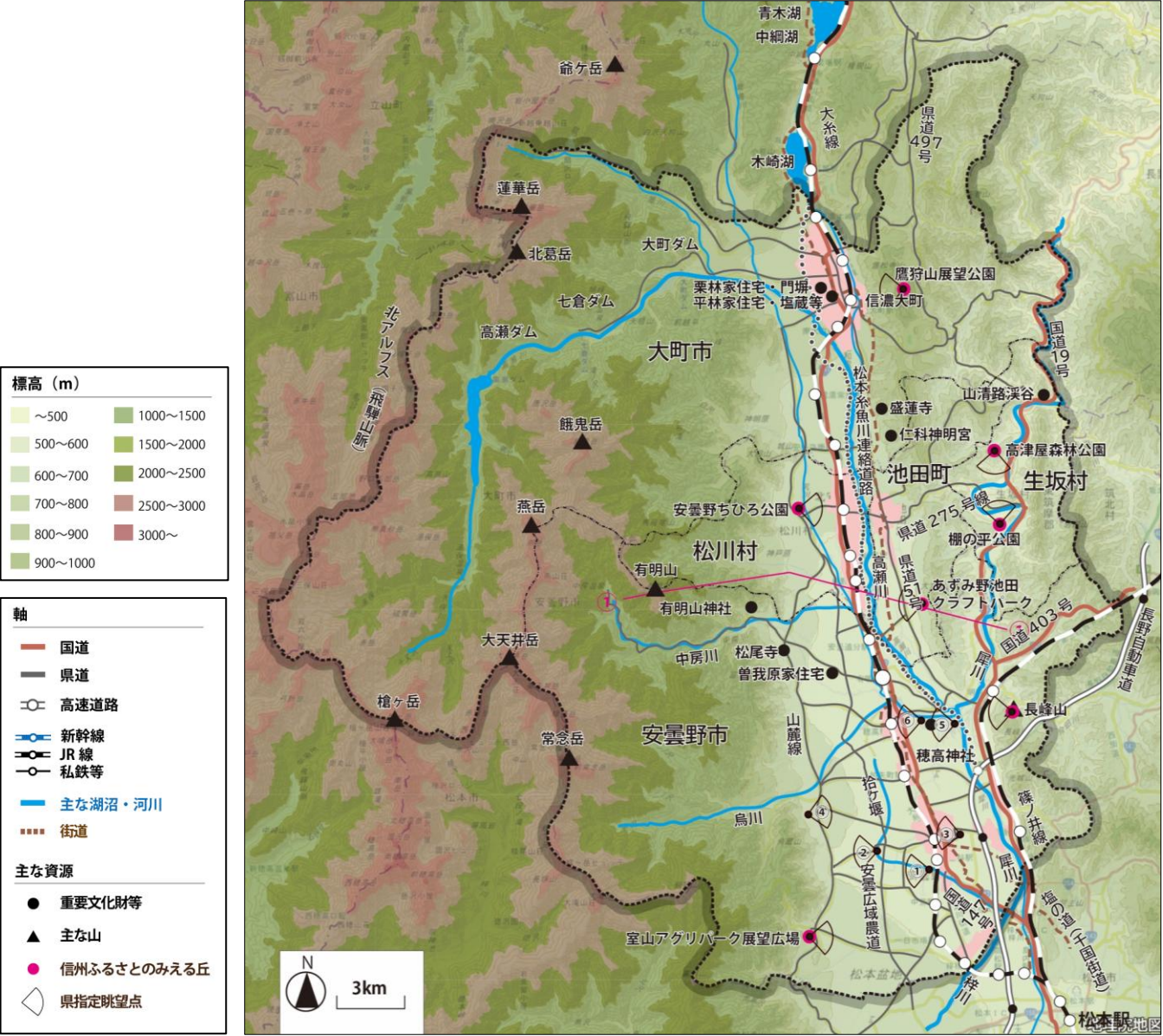
- ・槍ヶ岳等を水源とする高瀬川がエリア中央部を南北に流れ、梓川と合流して犀川となり、生坂村を経由し、善光寺平方面に流下している。
- ・犀川と麻績川との合流点にある山清路の溪谷は景勝地としても有名である。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- ・江戸期の拾ヶ堰（1816）整備等新田開発が進み、豊富な湧水を背景に、近代以降わさびやニジマス養殖等の特産も開発された。
- ・千国街道（塩の道）沿いの成相新田宿、保高宿、池田宿や大町宿に町家・蔵等が点在し、石碑や水路等に往事をしのぶことができる。
- ・国指定の文化財として大町市の仁科神明宮（国宝）、盛蓮寺（重要文化財）、安曇野市の松尾寺（重要文化財）等がある。
- ・エリア内に多く点在する道祖神はその数とともに双体道祖神の愛らしさ等が固有の景観資源となっている。

### ○産業の景観

- ・低地部に広がる田園と集落・屋敷林の連なりは山麓部の果樹園や山並みと一体となって安曇野を象徴する風景となっている。
- ・松川村の酒米、安曇野市西部の烏川扇状地や神戸原扇状地等でりんご等の栽培、高瀬川沿い等でのわさび栽培、生坂村のブドウ栽培、池田町の東山傾斜地等でワイン用ブドウの栽培等、気候風土を活かした多様な農作物の栽培が行われている。

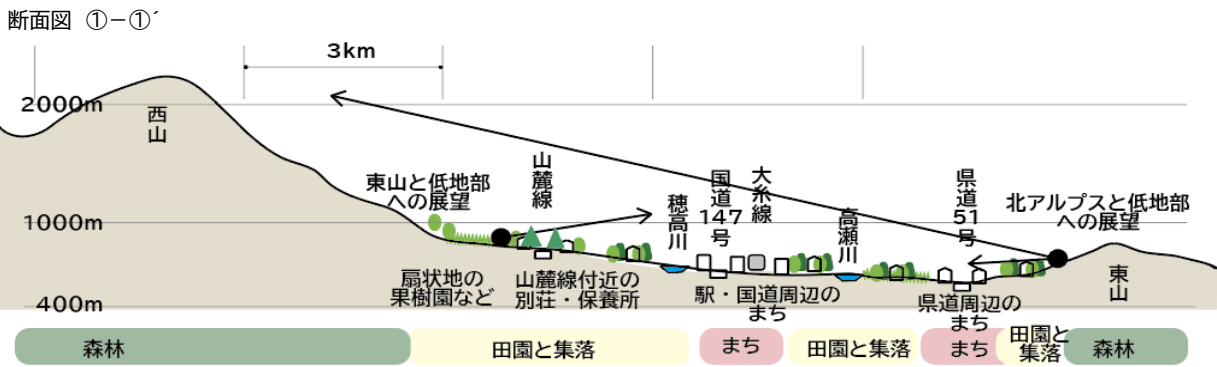


### 大切にしたい特徴

北アルプスと安曇野の田園風景や屋敷林の眺め／地下水や水田開発により生まれた複数の湧水やわさび田、レクリエーションの景観／旧街道や集落に歴史的な資源や暮らしの文化／梓橋で分岐する高瀬川流域の景観と、犀川流域の明科～生坂村へと連なる景観とのつながり

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- ・常念岳、大天井、有明山、蓮華岳、白馬三山等雄大な北アルプスの連なり
- ・低地の田園・集落と屋敷林や山麓の果樹園の風景
- ・梓川、高瀬川、犀川



早春賦歌碑公園からの眺め(安曇野市)



あずみの野クラフトパークからの眺め(池田町)



棚の平公園からの眺め(生坂村)



安曇野湧水群(安曇野市)



大町宿(大町市)



曾根原家住宅(安曇野市)

2. 大町・安曇野広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- ① 山並み・田園集落で構成される安曇野風景を大切にし、伝統的な生活文化として維持・保全を図る。
- ② 新規の沿道型立地や、移住等による宅地開発の動向を踏まえ、地域住民による協定等培われてきた景観誘導手法を活かす。
- ③ 塩の道や道祖神等の歴史文化や近代以降の別荘文化等、時代の文脈とともに追加されてきた景観資源を大切にす地域住民活動を尊重し、安曇野の文化としての景観育成を支援していく。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- ・ 東山から北アルプスの山並みや安曇野田園集落を望む眺望景観（例：あずみの池田クラフトパーク等）
- ・ 西山から東山や安曇野田園集落を望む眺望景観（例：安曇野ちひろ公園等）
- ・ 田園内から周辺の山並みへの眺望景観（道の駅アルプスほりがねの里等）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：屋敷林と田園風景による安曇野らしい原風景の景観保全

- ・ 北アルプスへの眺めや田園景観との調和に配慮した建築物や屋外広告物の誘導
- ・ 周辺市町村を含めた統一した案内サインの検討（既存サインの整理統合を含む）
- ・ 伝統的な屋敷林や農家住宅の維持保全に係る支援措置の検討

③景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

③-1 北アルプスや高瀬川と並走する幹線道路等

●対象地域：国道147号、松本系魚川道路、北アルプスパノラマロード、JR大糸線等

- ・ 自然景観と調和した沿道沿いの車窓景観、シークエンス景観の育成
- ・ 松本系魚川連絡道路整備に際しての道路施設デザインの景観配慮

③-2 白馬バレー広域景観エリアに連続する広域的な景観育成

●対象地域：国道147号・148号沿道景観育成重点地域をベースとした周辺区域

- ・ 北アルプスを背景とした建築物や工作物の誘導と景観育成基準の検討（重点地域の検討等）  
（長野県景観育成計画・安曇野市景観計画・大町市景観計画の調整）
- ・ 統一感を持った屋外広告物設置の推進（規制地域の検討や統一した案内サインの検討）

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

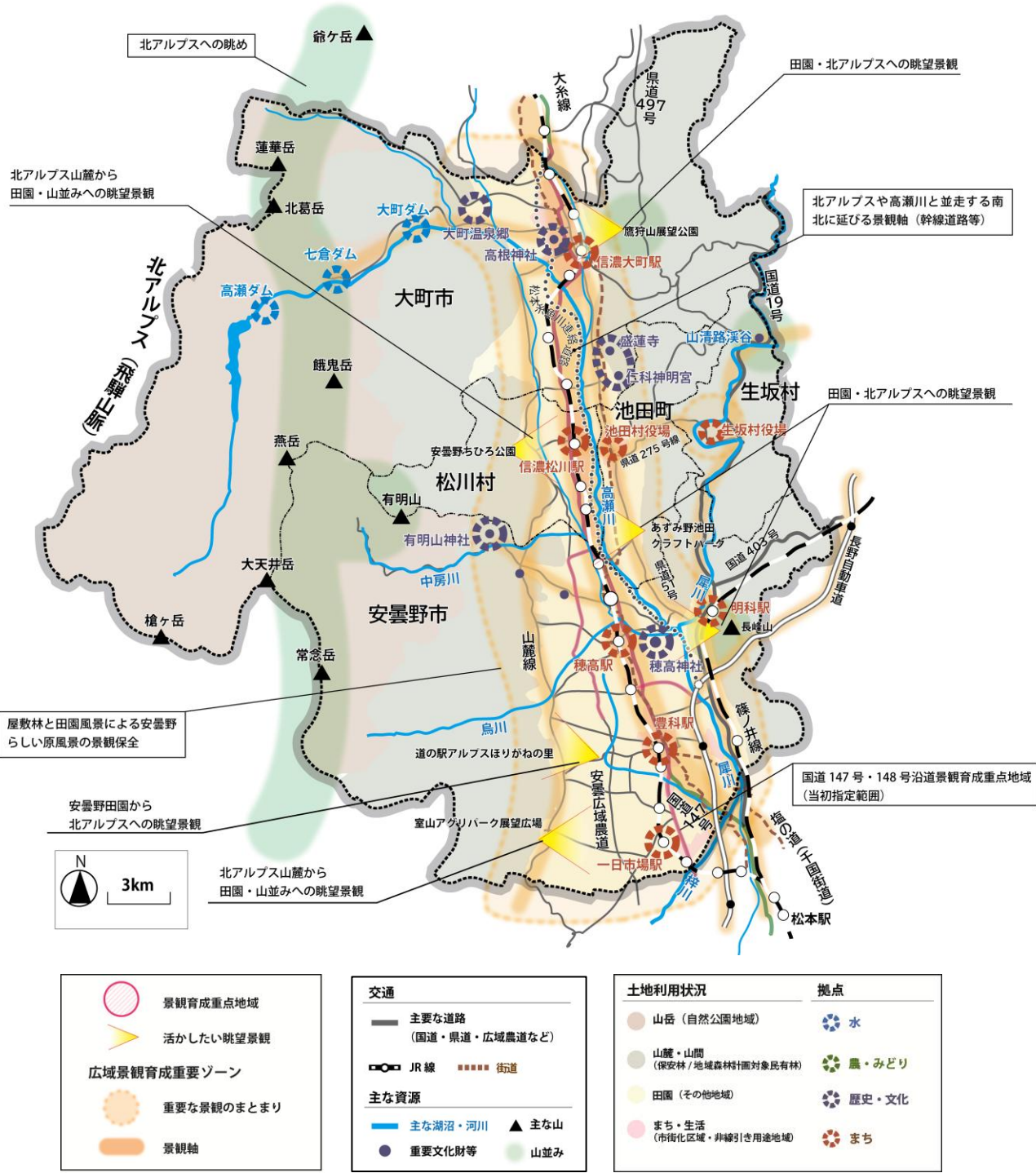
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・ 安曇野IC～松本系魚川連絡道路や山麓線沿道等、開発動向に応じ、主要路線を中心に展開してきた住民協定・住民活動の支援
- ・ 里山や耕作地等での新たな宅地開発の動向を踏まえ、各市町村の土地利用施策や地域住民のまちづくり活動支援と連携した景観育成（住民協定活用の支援等）

② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり  
→各市町村や住民主体による田園・屋敷林や、千国街道等のガイドツアー・交流会の情報連携やイベント連携（白馬バレーエリアとの連携も検討）
- ・ 特産物と景観を結びつけるエリア振興策（情報交換や協力体制構築）の検討  
→水・酒米・複数の酒造が揃い、ワインバレーも有するエリアとしての特徴を活かした酒蔵ツーリズム推進や地場食材体験の場づくり等

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 白馬バレー広域景観エリアの景観育成方針

大町市、白馬村、小谷村

## 1. 白馬バレー広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 西を北アルプス、東を小谷山地に囲まれた白馬盆地とで構成され、随所より北アルプス3000m級の山々の連なりを間近に望む山岳都市の景観を有する。
- 夏場でも雪渓の残る山岳と、前景に見られる季節の彩りとの対比が特徴的であり、県内で本エリア内のみ氷河が確認されている4つの雪渓（カクネ里、唐松沢、杓子沢、不帰沢）はのうち、杓子沢氷河はまちなかからも眺められる身近なものであり、山岳ツーリズムの推進や地域学習・環境教育としての活用も期待される。
- ジャンプ台等のオリンピック施設に代表される自然景観を生かしたレクリエーション景観が広がっている。
- 県指定の「ふるさとのお見える（丘）」や「眺望点」は北アルプス山麓のスキー場や山麓の公園が選ばれ、地域の生活圏と山の眺望の組み合わせで構成されている。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 盆地中央部をエリアの主要な交通動線であるJR大糸線や国道148号が通る他、県道長野大町線や白馬美麻線も長野駅からこのエリアのアプローチルートとして重要である。
- 歴史的な交通軸として千国街道（塩の道）がJR大糸線至近を南北に通る、荷継ぎ町として栄えた大町宿、牛と牛方が一緒に寝泊まりしたとされる牛方宿等、随所にその面影が見られる。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

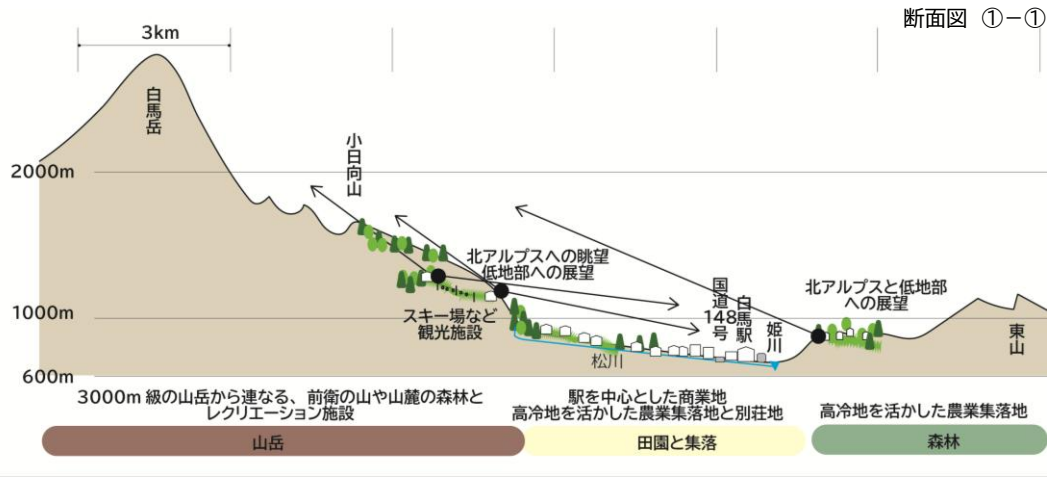
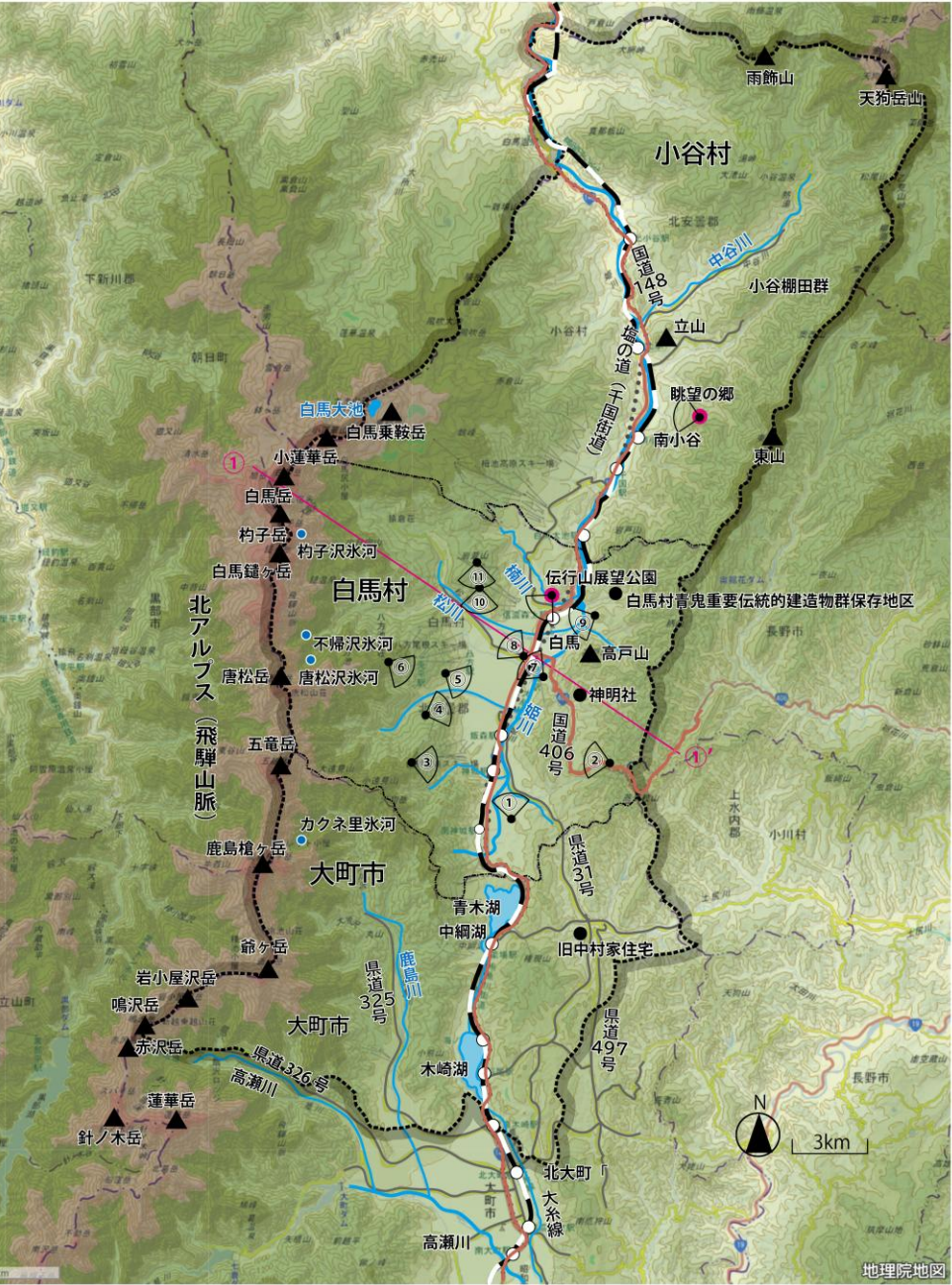
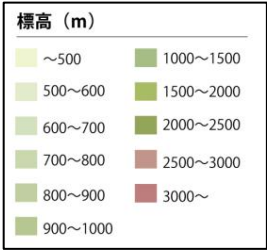
- エリア中央を流れる姫川は糸魚川・静岡構造線（フォッサマグナ）の西縁に沿って流れている。その水源は国道・民家至近の白馬村の親海湿原の湧水であり、姫川源流自然探勝園として公開されている。
- 大町市北部にある仁科三湖（青木湖、木崎湖、中綱湖）は湖底からの湧水による透明度を誇り、それぞれ特色ある水辺アクティビティが充実し、人々に親しまれている。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 歴史的な交通軸として千国街道（塩の道）がJR大糸線至近を南北に通る、その歴史は縄文時代、白馬一帯で産出されたヒスイの交易にあるとされる。荷継ぎ町として栄えた大町宿、牛と牛方が一緒に寝泊まりしたとされる牛方宿等、随所にその面影が見られる。
- 白馬村の東部山間部には重要伝統的建造物群保存地区に選定された青鬼集落があり、棚田や青鬼堰とともに昔ながらの山村集落の姿を今に伝えている。

### ○産業の景観

- 低地部や山間部等で、高冷な気候風土に根ざした、多様な特産品（紫米、雪中キャベツ、雪下ニンジン等）が栽培されている。
- 北アルプス山麓部一体は長野五輪会場となる等国内屈指のスキーリゾート地として近代以降より発展し、近年では通年型のリゾート提供地として一層の発展のため、エリア内各市村及び地元観光団体による観光DMO「HAKUBAVALLEYTOURISM」が設立された。
- 国内外のツーリスト向けの発信を行っており、通年型及び滞在型の観光戦略や、自然・歴史的環境の維持等をコンセプトとして広域的な情報発信やエリア内の整備を行っている。
- また「HAKUBAVALLEY八景」という景観を主題とした取り組みも見られる。



### 大切にしたい特徴

遠景に望む北アルプス白馬連峰、立山連峰への眺め／フォッサマグナが生み出す変化に富んだ地形／自然景観を生かしたレクリエーションの景観(仁科三湖、スキー場等)／平地部の中央を通る姫川、国道148号等のエリアの骨格軸／千国街道(塩の道)や集落に点在する歴史的な資源や暮らしの文化

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- ・白馬駅前や、まちなか、里やリゾート地から望む、北アルプスの山並み
- ・スキー場や丘の上から望むまちや里、田園
- ・国道148号やJR大糸線から望む、仁科三湖と山並み



白馬五竜スキー場、地藏頭からの眺め(白馬村)



伝行山展望公園からの眺め(白馬村)



小谷の集落(小谷村)



どんぐり展望台からの眺め(白馬村)



青木湖(大町市)



青鬼集落(白馬村)



牛方宿(小谷村)

## 2. 白馬バレー広域景観エリアの景観育成方針

## 1)広域景観育成の基本目標

- ① 北アルプスの連なりへの眺めと、地域の生活文化の中に観光リゾート需要を受け止めつつ丁寧に形成されてきたまち・里の景観を守り育て、日本屈指の山岳観光地としての姿を地域で共有していく。
- ② 国道148号や県道白馬美麻線、JR大糸線等、エリアの魅力を感じる白馬バレーへのアプローチ動線からの眺めを活かし、広域的にエリアの魅力を体験できる景観育成を図る。

## 2)広域景観育成の基本方針

## 2-1 広域景観の育成を先導する取組

### ① 活かしたい眺望景観

- ・ 白馬盆地や田園を見晴らす眺望景観（例：白馬八方尾根スキー場 Gondola 山頂駅、どんぐり公園等）
- ・ エリアの玄関口から北アルプスへの眺望景観（例：白馬駅前等）

## ② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:仁科三湖周辺

- ・自然豊かな景観や環境に配慮した道路や防護柵、街灯等の公共施設等デザインの検討
- ・周辺市町村を含めた統一した景観誘導施策の検討（統一案内サインの設置検討等）

●対象地域：白馬駅及び周辺市街地、山麓部の観光地、集落地域

- JR大糸線車窓や各駅前、国道148号や、県道長野大町線、白馬美麻線等エリアへのアプローチ道路や主要交通軸等から山並みや田園への眺めに配慮した建築物や工作物（屋外広告物。太陽光発電施設）の誘導
- 周辺市町村を含めた統一した案内サインの検討

### ③景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

### ③-1 北アルプスや姫川と並走する幹線道路等

●対象地域:国道148号、松本糸魚川道路、JR大糸線

- ・ 自然景観と調和した沿道沿いの車窓景観、シークエンス景観の育成
- ・ 松本糸魚川連絡道路整備に際しての道路施設デザインの景観配慮

### ③-2 大町・安曇野広域景観エリアに連続する広域的な景観育成

●対象地域:国道147号・148号沿道景観育成重点地域をベースとした周辺区域

- ・ 北アルプスを背景とした建築物や工作物の誘導と景観育成基準の検討（重点地域の検討等）  
（長野県景観育成計画、大町市景観計画、白馬村景観計画、小谷村景観づくり計画の調整）
- ・ 統一感を持った屋外広告物設置の推進（規制地域の検討や統一した案内サインの検討）

## 2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

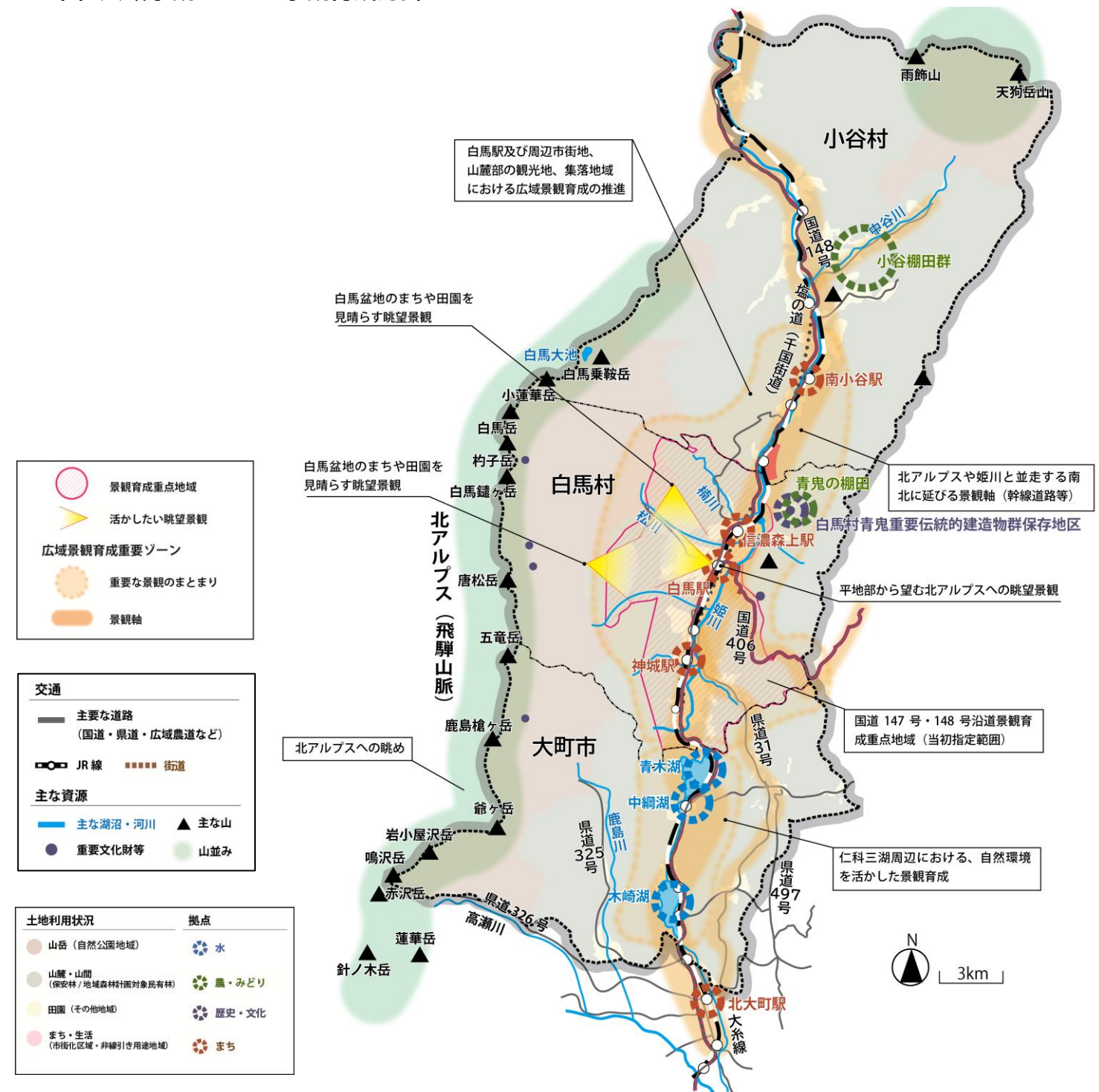
### ① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・ 地域住民や店舗営業者等で協力して運営してきた既定の住民協定・住民活動の支援及び締結を検討する地区への検討支援
- ・ 各市町村の土地利用施策や地域住民のまちづくり活動支援と連携した景観育成

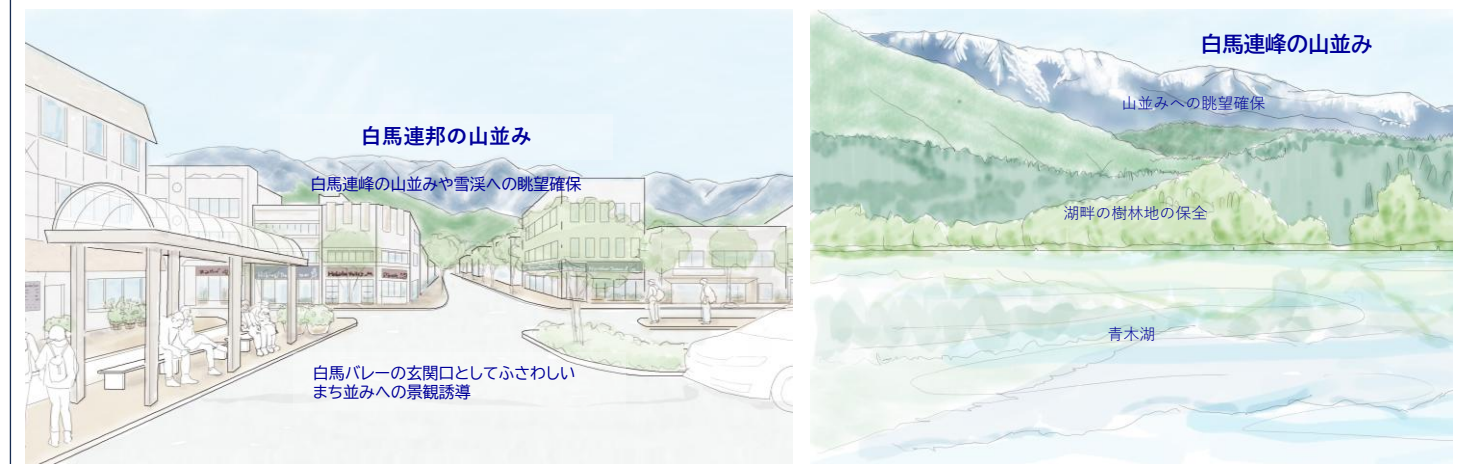
## ② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・ 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり  
→各市村や住民主体による千国街道の町家・蔵・塩倉や社寺等、歴史・文化資源のめぐるガイドツアー・交流会の情報連携やイベント連携（大町・安曇野エリアとの連携も検討）
- ・ 特産物と景観を結びつけるエリア振興策（情報交換や協力体制構築）の検討  
→気候風土に根ざした特産品（紫米、雪中キャベツ、雪下ニンジン等）と農業集落景観を結びつけた、食と景観の体験プログラム等

## 図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 長野広域景観エリアの景観育成方針

長野市、須坂市、千曲市、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村

## 1. 長野広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 千曲川や犀川の扇状地である長野盆地（善光寺平）を中心に周辺の北信五岳等の山地、地すべり等で形成された緩やかな斜面、大小の河川の流れ込み等から変化に富んだ地形が形成されている。
- 都市と農山村・自然が共存するエリアであり、高原エリアに連なる丘陵地は、古墳や城址等が形成された場所も多く、山並みに囲まれた市街地、田園風景等高低差を感じる景観を望む。
- エリアを巡る河川（橋梁、沿川のサイクリングロード、水辺アクティビティ）や多様な交通軸（北陸新幹線、高速道路、幹線道路）を移動しながらシークエンス景観を楽しむことができることも特徴である。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 善光寺平を中心に、北陸新幹線、鉄道各線、上信越自動車道、長野自動車道、国道403号、国道18号、犀川沿いの国道19号等広域的な交通網が形成され、首都圏、北陸圏との近接性が高い。
- 佐渡の金銀の輸送に使われた北国街道をはじめ、各地と善光寺周辺を結ぶ信仰の道である街道筋が多くあり、宿場町が形成された。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

- 大規模な扇状地を形成する千曲川や犀川が骨格的な軸を形成している。千曲川では、沿川自治体が協働し、親水環境整備や水辺アクティビティの充実、広域観光ルートの構築等に取り組んでいる。
- 池沼、滝、湧水等多様な地形がもたらす水の景観が随所にみられ、北には県内最大の貯水量を誇る天然湖である野尻湖があり、透明な水の広大な景観がみられる。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

- 約1400年前に創建されたと伝わる善光寺と門前町、各地と善光寺周辺を結ぶ街道筋が巡り、かつての街道沿いには宿場町や舟運で栄えた趣が残るまち並みや石仏等がみられる。
- 山岳信仰や古い歴史を有する社寺、宿坊が連なるまち並み、製糸業で栄えた蔵のまち並み、多くの城跡や社寺、温泉街、おやきをはじめとする固有の食文化等多様な歴史・文化的な景観を有している。

### ○産業の景観

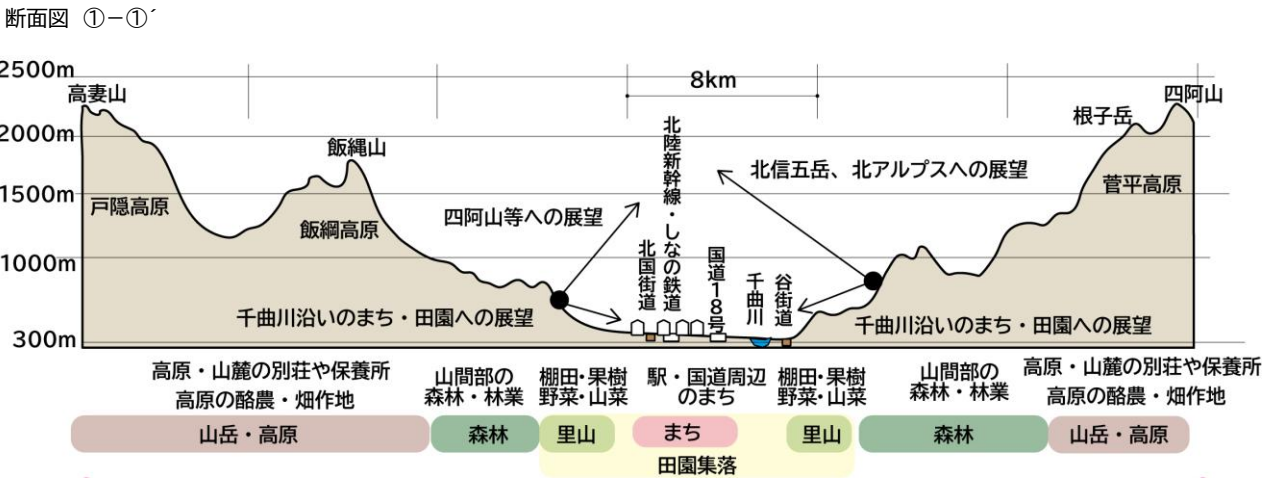
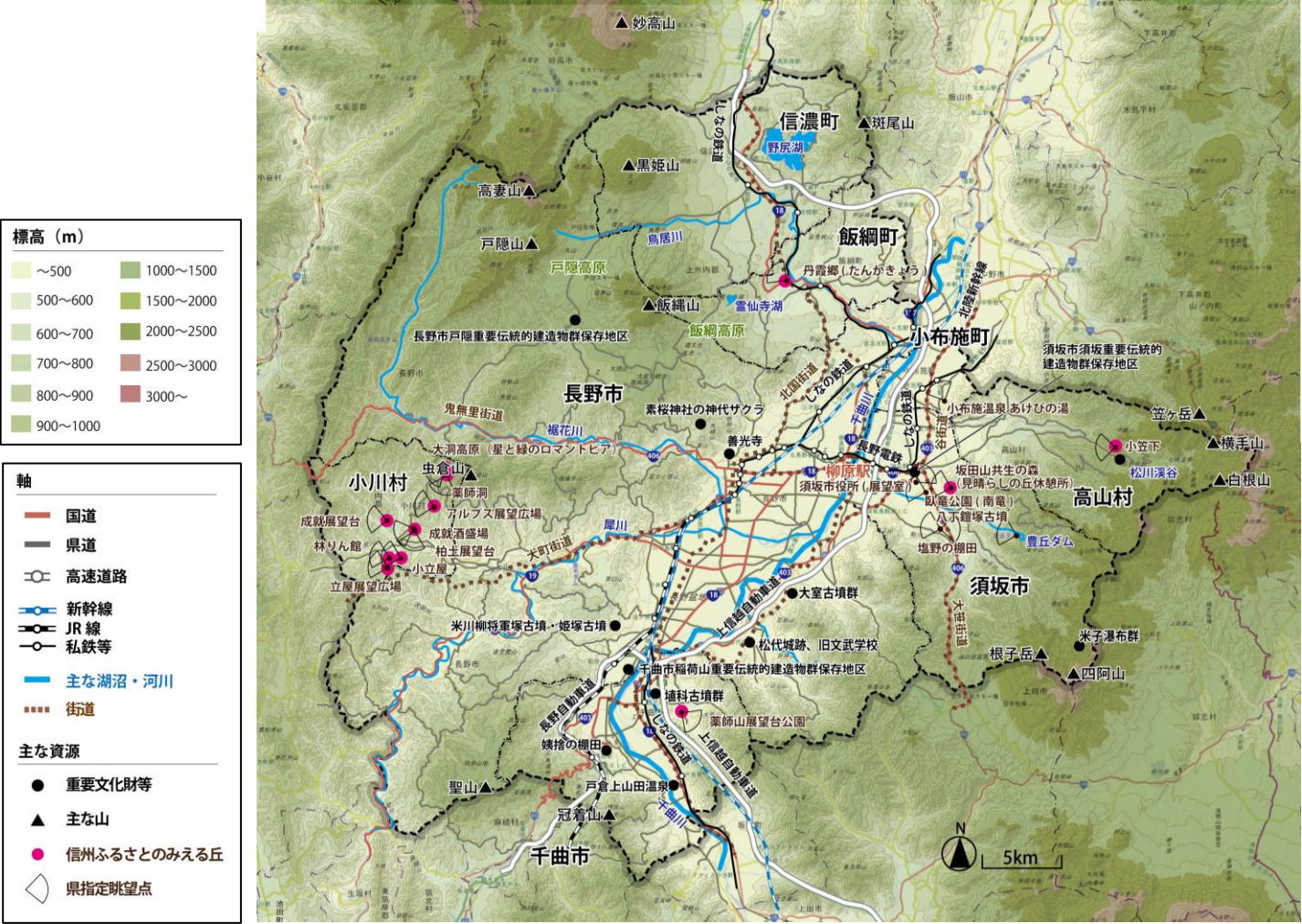
- 善光寺平を中心に政治・経済・文化・教育等の機能が集積し、多様な産業が栄えている。特に機械・電気・食品をはじめとした製造業は地域経済を牽引している。
- 豊かな地形と水によって、盆地に広がる水田、山間地の棚田等の多様な田園風景が形成されている。また、日照や昼夜の気候差によって果樹栽培が盛んであり、市場性・生産量ともに県内随一である。
- 交通環境の良さ、自然環境や果樹栽培、歴史的な資源を活かした観光業も盛んで、河川や水辺、北信五岳や四阿山等が形成する高原エリア等、四季を通じて多様なアクティビティが体験できる環境に恵まれている。

### 大切にしたい特徴

北信五岳、北アルプスをはじめとする山々への眺め／千曲川、犀川と中小の河川が形成する水のネットワーク／歴史のシンボルである善光寺と各地を結ぶ街道筋の景観／変化に富んだ地形に寄り添う農業景観(田園・果樹・高原野菜や酪農等)／野尻湖や高原等の四季を通じて様々な体験ができる豊かな自然／利便性の高い交通環境

### 主な視対象(広域的な景観要素)

- ・北信五岳(妙高山、黒姫山、飯縄山、戸隠山、斑尾山)
- ・北アルプス
- ・善光寺平を囲む山々の重なり
- ・千曲川、犀川
- ・河川周辺の市街地、田園集落、果樹等の栽培風景
- ・鉄道(しの鉄道・長野電鉄・北陸新幹線)



別名「芙蓉湖」とも呼ばれる野尻湖(信濃町)



丹波郷と北信五岳への眺望(飯綱町)



栗の小径(小施町)



樹齢250年以上のしだれ桜と北信五岳への眺望(高山村)



須坂祇園まつりと蔵のまち並み(須坂市)



善光寺へ続く石畳(長野市)



北アルプスへの眺望と里の風景(小川村)



姨捨の棚田(千曲市)

2. 長野広域景観エリアの育成方針

1)広域景観育成の基本目標

- ・都市と自然・田園が高低差のある多様な地形の中で共存する特徴を活かす。
- ・各地の歴史・文化的資源を良好に保全・創出するとともに、河川アクティビティやサイクリング、交通軸の豊かさ等、広域ネットワークにおける取組とも連携し、個性の異なる土地を巡る楽しみを育てる。
- ・多様な地形に寄り添い展開するバリエーション豊かな果樹や野菜栽培、水田は、エリア共通の景観のベースとして、実りの季節のみならず、芽吹きや花等四季の楽しみとともに保全・育成する。

2)広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- ・丘陵や高台から善光寺平と平を囲む山々（北信五岳や北アルプス等）を望む高低差を体感する眺め（例：坂田山共生の森、JR姨捨駅、小布施温泉あけびの湯、塩野の棚田）
- ・千曲川沿いの橋梁、公園、サイクリングロード等河川沿いから盆地と山並みを望む眺め（例：大正橋、千曲川河川公園）
- ・交通軸から連続的に望むシークエンス景観（例：北陸新幹線、鉄道各線の車窓景観、国道403号と千曲川展望公園）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:歴史・文化、まち、交通軸が集積する善光寺平における広域景観育成の推進

- ・善光寺平を望む眺めや盆地から周囲の山並みを望む眺望景観の確保
- ・善光寺平を前景に周囲の山並みを望む視点場の整備（眺望支障物の撤去、案内サイン整備）、夜景等特徴的な眺望景観の保全
- ・善光寺平を囲む丘陵地や緩斜面の景観の保全・育成（地形に寄り添う棚田等の田園集落や果樹栽培の風景の保全・活用、建築物・工作物）等の誘導

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域:景観拠点における景観育成と拠点を結ぶ景観軸における沿道景観の育成（国道18号、国道19号、国道403号、国道406号、高速道路(長野道・上信越道)、北陸新幹線 等）

- ・善光寺と各地を結ぶ街道筋や千曲川、広域交通等、エリアをネットワークする要素を活かした景観誘導  
→千曲川かわまちづくり（河川沿いの広域周遊ルートづくり）  
→サイクルトレイン（しなの鉄道、長野電鉄）等の既存の取組との連携  
→エリアの共通イメージをつくる統一サインの整備
- ・沿道のシークエンス景観とともに特に眺望の美しい区間や眺望スポットの育成
- ・景観軸として公共施設の質の向上（景観重要公共施設、デザイン協議等）
- ・高速道路や北陸新幹線の沿道・沿線における屋外広告物のルールづくり（統一感を持った屋外広告物規制等）

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

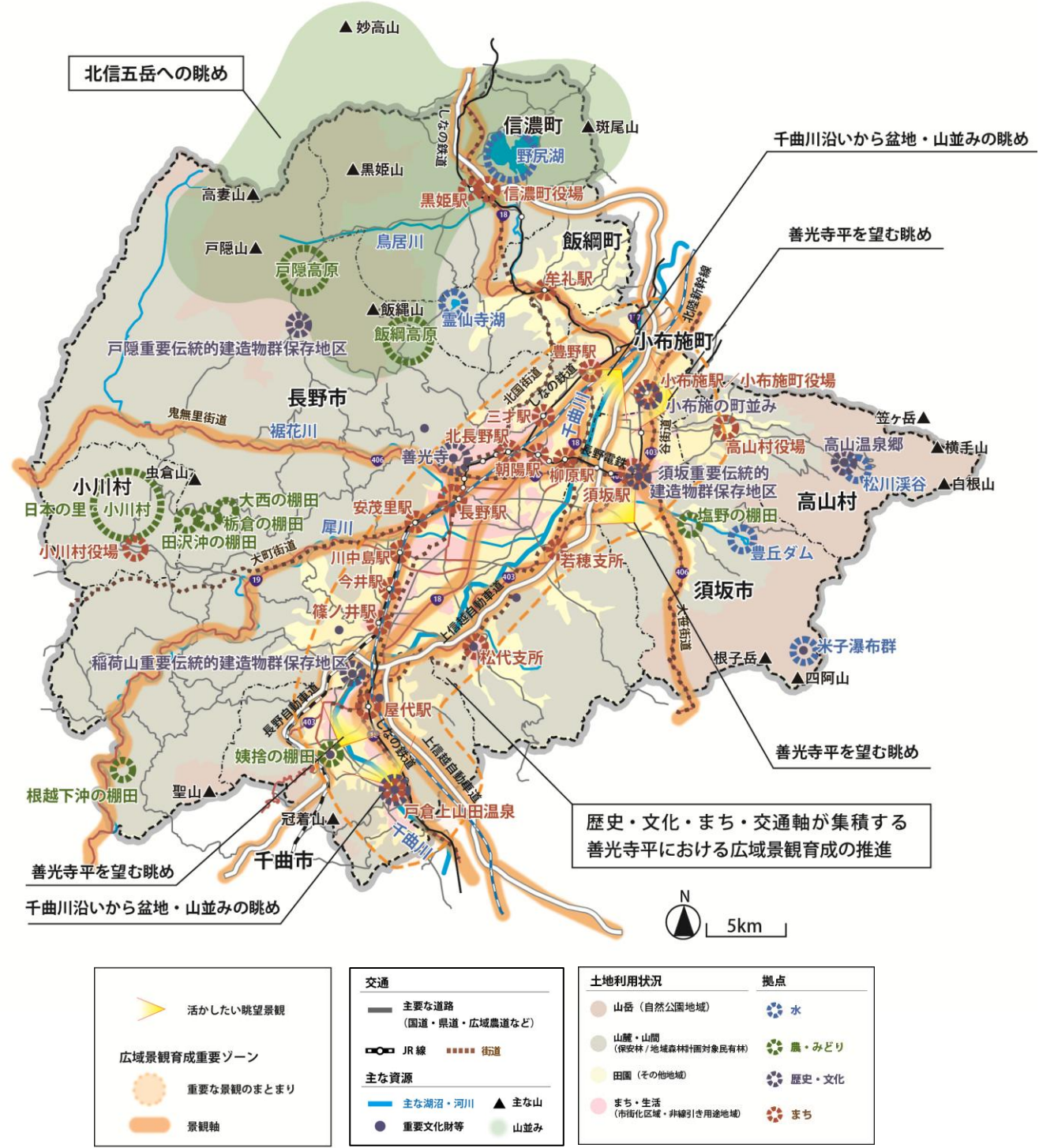
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- ・身近な生活環境や歴史・文化等の地域固有の景観の保全・創造に活用されてきた既定の住民協定や活動の支援、担い手育成
- ・住民や団体と連携した歴史文化的資源や河川・水辺、自然環境の保全活動

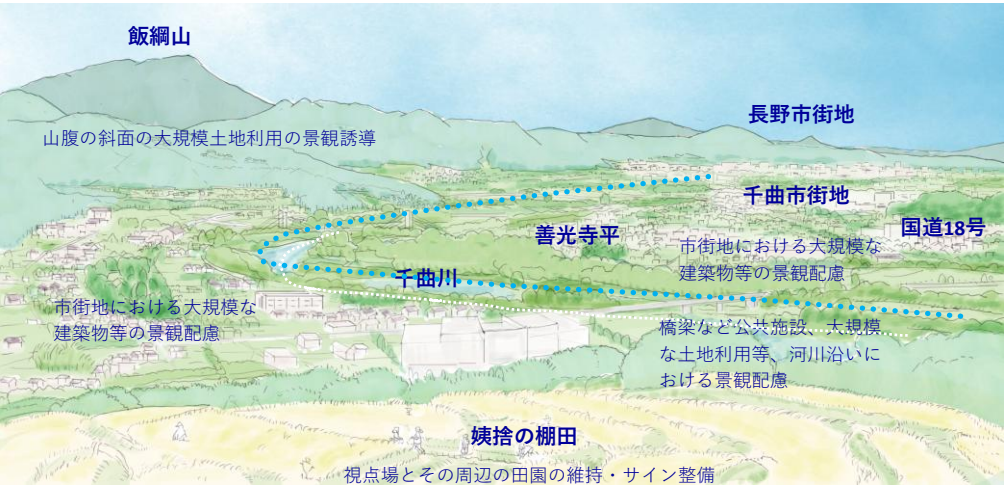
② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- ・景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり（資源のリスト化やエリア統一の情報発信等）
- ・県内随一の果樹栽培と連携したエリア振興策の検討（芽吹きや花、水の張った水田等四季も通じた魅力の発信、産地とセットでブランディング、ツアーへの活用等）
- ・見るだけでなく、食等の五感、移動やアクティビティとも一体となった景観体験の構築

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ



# 北信広域景観エリアの景観育成方針

中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村

## 1. 北信広域景観エリアの景観特性

### ○地形的な特徴と眺望

- 県の最北端に位置し、エリア全体で千曲川沿いの扇状地と周囲を囲む山並みをベースとしたまとまりのある景観が形成され、随所から高社山や北信五岳、千曲川と一体となった市街地や集落、田園風景を望むことができる。
- 志賀高原、斑尾高原等、東部山岳地帯は、ほぼ全域が上信越高原国立公園に属している。高社山より北は最深積雪が2 mを超える全国有数の豪雪地帯であり、四季折々の変化に富む景観を有する。
- 雪が多いことから高原には広大なブナの植生エリアが広がっており、水源涵養機能に優れたブナの森で浄化された清冽な水が千曲川の右岸・左岸から飯山盆地に流れ込み豊かな土壌を形成している。
- 高社山はエリアのシンボルであり「たかやしろ」「高井富士」等の愛称で呼ぶ地域もある。田園集落を前景に平地から望む景観、山頂付近から集落や河川・田園・周辺の山々を見下ろす景観のいずれも親しまれている。

### ○道路・交通(交通景観軸)

- 古くは信濃国稲荷山（長野県千曲市）～信濃国飯山（長野県飯山市）に至る谷街道をはじめ、現在のJR飯山線、国道117号、国道292号等、河川沿いに主要な交通軸が形成されている。
- 国道117号沿道は、山並みや千曲川、その周辺に拡がる里山を望む沿道景観が形成されている。

### ○河川・水辺(河川景観軸)

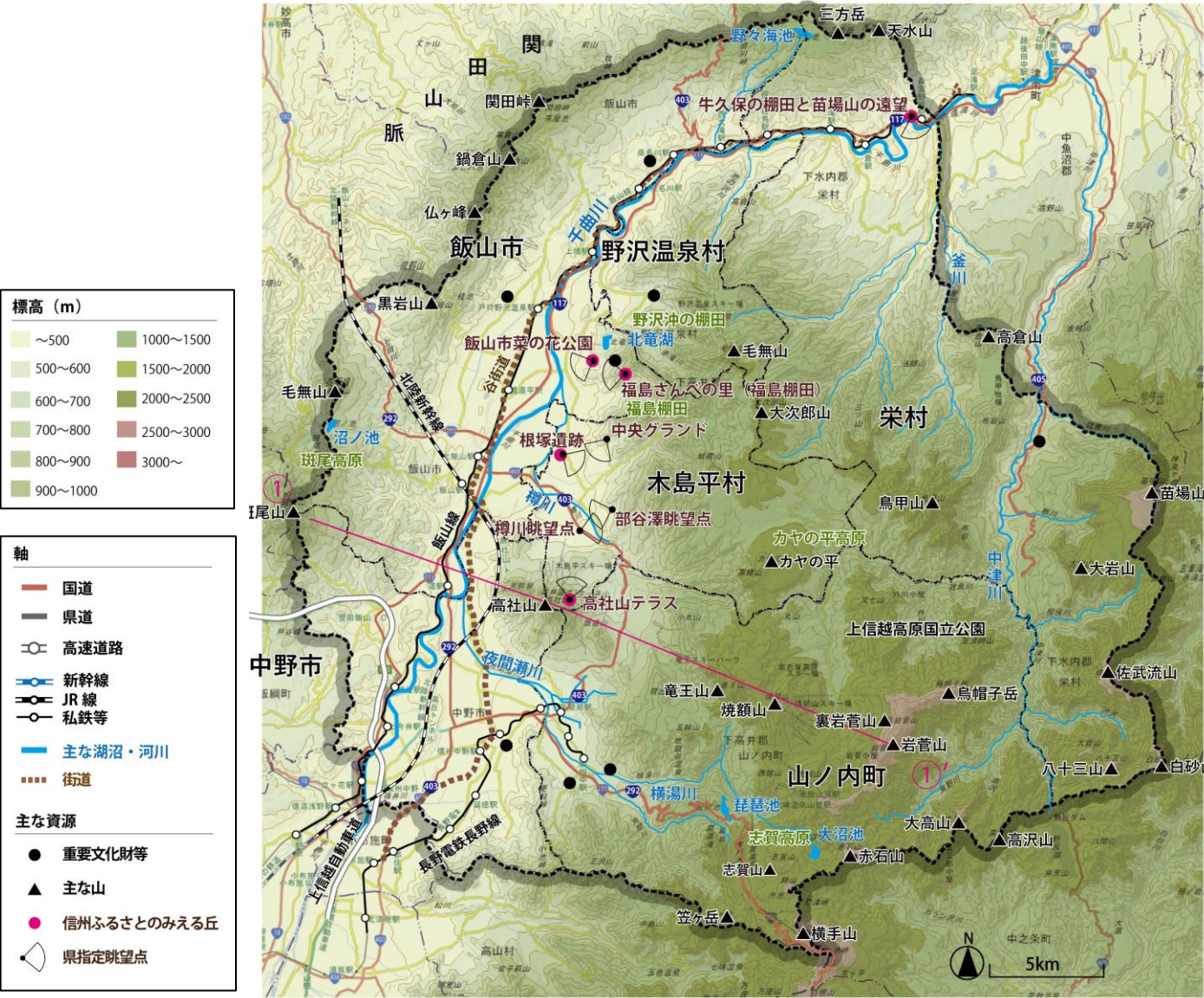
- 千曲川が骨格的な軸を形成しており、川と市街地、田園風景が一体となった景観が形成されている。また、沿川自治体が協働し、親水環境整備や水辺アクティビティの充実、広域観光ルートの構築等に取り組んでいる。
- 夜間瀬川をはじめとする河川が千曲川に流入し、河川や用水、池沼、滝、湧水等、多様な地形がもたらす水の景観が随所にみられる。龍興寺清水（平成の名水百選）をはじめとする湧水は暮らしの中で親しまれている。

### ○歴史・文化(歴史・文化的な景観)

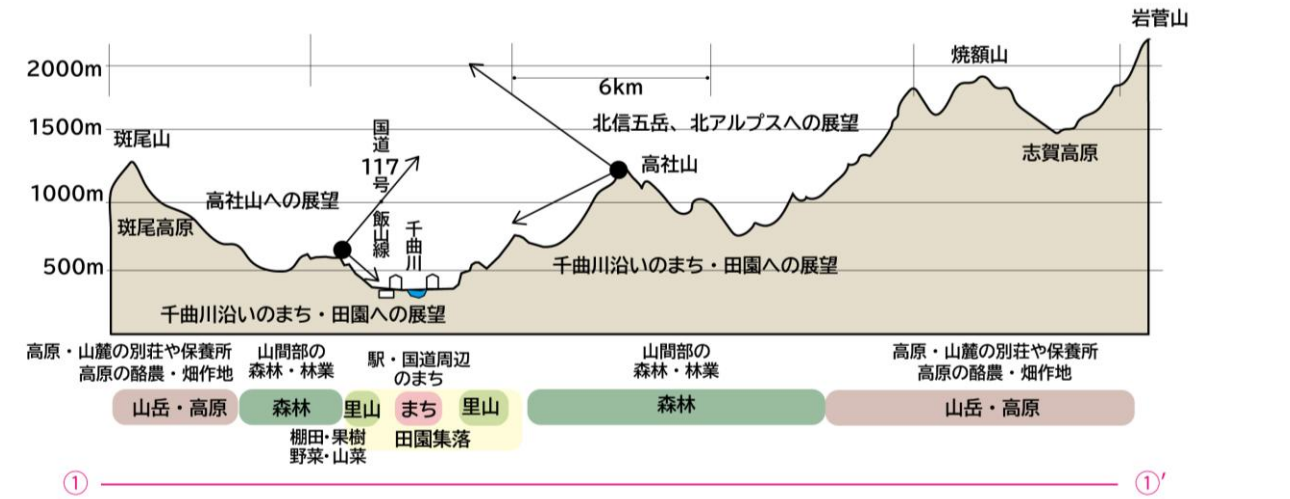
- 飯山市の寺町や小菅地区等の神社仏閣、湯田中渋温泉郷や野沢温泉等の温泉郷等固有の歴史・文化を有する。
- ふるさとの原風景が残る恵まれた自然環境を有し、中山晋平や高野辰之「故郷」「朧月夜」に歌われた里山の風景等唱歌の世界に由来する景観が数多く残されている。
- 道祖神祭り（野沢温泉村）、かまくら祭り（飯山市）等、気候風土に根付いた祭礼・行事が存在する。

### ○産業の景観

- 飯山仏壇、内山紙、中野土人形、栄村つぐら等伝統的工芸品を造る地場産業に加え、千曲川が形成する扇状地や周辺を縁取る山地に沿って水田や果樹栽培等の耕地が分布し、野沢菜等の伝統野菜、きのこや山菜、りんご、ぶどう、もも、プラム等の果樹、アスパラガス等野菜や米、高原の畜産やソバ、シャクヤク等の花き等多様な農業が展開されている。
- 志賀高原や北志賀高原、斑尾高原、カヤの平高原等の山岳高原、秋山郷等の豊かな自然環境、湯田中渋温泉郷や野沢温泉、エリアに多数あるスキー場等豊富な観光資源に恵まれた県内有数の観光エリアである。



断面図 ①-①'



千曲川・花の里風景街道・国道117号  
(栄村、野沢温泉村、飯山市、中野市)



蛇行して流れる千曲川と田園(栄村)



野沢温泉・大湯(野沢温泉村)



田園集落と山々への眺め(木島平村)



小菅の里及び小菅山の文化的景観  
(飯山市)



田園集落を前景に望む高社山(中野市)



湯田中駅と楓の湯(山ノ内町)

2. 北信広域景観エリアの育成方針

1) 広域景観育成の基本目標

- 南北を縦断する千曲川と交通軸（国道117号、JR飯山線）は、広域的な移動の軸、エリア内の景観育成の拠点へのアプローチ軸として、魅力を高めるとともにエリア内のまとまりが感じられる景観を創出する。
- シンボルである高社山、北信五岳への眺めは、その前景となる田園・集落の美しさとともに保全・育成する。
- 県内外、インバウンドの来訪者に親しまれ、観光資源としても重要な場所や資源を周囲の景観と調和するよう、良好に保全・創造するとともに、これらをネットワークし、エリアを巡る楽しみを育成する。

2) 広域景観育成の基本方針

2-1 広域景観の育成を先導する取組

① 活かしたい眺望景観

- 千曲川沿いの田園集落を前景に平地から望む高社山、北信五岳への眺望景観（例：中野市たかやしろ・見晴らし街道、飯山駅ホーム、千曲川沿いの田園地帯）
- 千曲川沿いの橋梁や公園等の眺望スポットから飯山盆地を望む眺め（例：中央橋、飯山市菜の花公園）
- 山々や高台から望む飯山盆地とそれらを囲む山並みから成るまとまりのある景観（例：高社山テラス）
- 鉄道（JR飯山線・北陸新幹線）から連続的に望む景観（例：JR飯山線、北陸新幹線の車窓景観）

② 景観のまとまりにおける広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：高社山麓・千曲川下流域景観育成重点地域(当初指定範囲を含む)をベースとした景観育成

- 景観行政団体市町村と長野県の景観計画に定める景観育成基準の統一したルールづくり（基準や取扱い等）
- 高社山等地域のシンボルとなっている山並みを背景とした眺望景観の保全
- 飯山盆地に広がる田園集落、山麓の果樹栽培の風景の保全・活用

③ 景観軸における広域景観育成の推進（広域景観育成重要ゾーン）

●対象地域：千曲川と周囲の山並みが一体となった景観軸の景観育成（千曲川、国道117号、国道292号、国道403号、国道405号、北陸新幹線 等）

- 主要な交差点、橋梁等ポイントとなる場所の景観整備、沿道の道路付属物等の景観配慮
- 沿道のシークエンス景観とともに特に眺望の美しい区間や眺望スポットの育成
- 建築物・工作物や屋外広告物のルールづくり、統一サインやエリア内の巡りを促すサインの整備
- 公共施設の質の向上（景観重要公共施設、デザイン協議等）
- 千曲川・花の里山風景街道（一般国道117号）、千曲川かわまちづくり（河川沿いの広域周遊ルートづくり）等の既存の取組と連携した景観育成
- 国道117号や北陸新幹線の沿道・沿線における屋外広告物の規制誘導

2-2 景観資源を活かしたエリアブランディングの取組

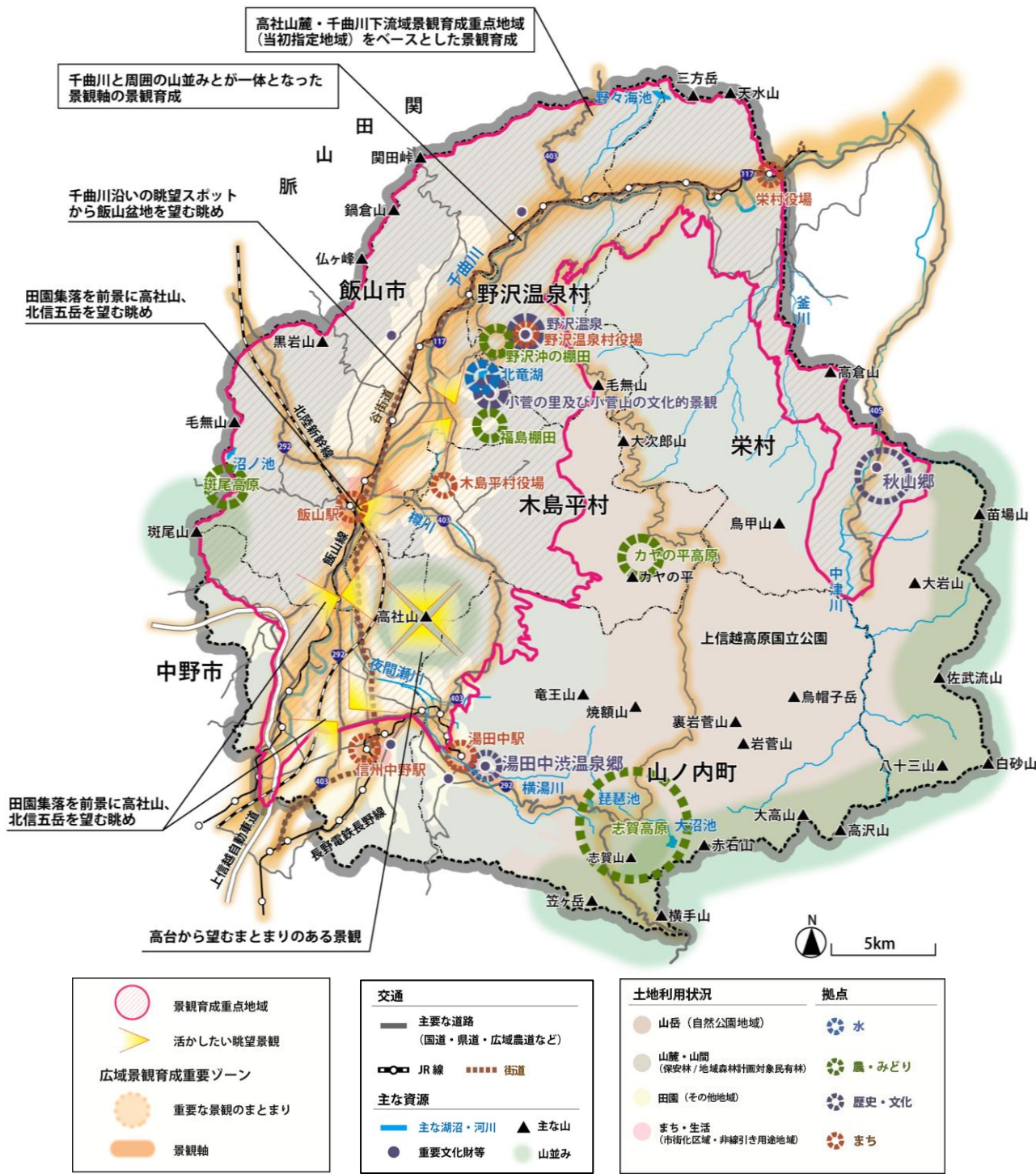
① 住民を主体とした景観育成の取組による環境の維持向上

- 住民協定や住民主体の活動の支援、担い手育成（身近な生活環境（市街地、集落地）や歴史・文化的まち並みや自然・田園等の保全・創造）
- 景観拠点とその周辺における、花・みどりづくり、案内サインづくり、インバウンドへの対応も含めた建築物や広告物のルールづくり

② 歴史・文化的資源や農林業等を活用したブランディング

- 景観資源活用の情報交換や協力体制構築の場づくり（資源のリスト化やエリア統一の情報発信等）
- 豪雪地帯ならではの雪景観や四季折々の景観、スキー場・ウィンタースポーツ文化を生かしたエリアブランドの形成及び情報発信
- 飯山仏壇、内山紙、中野土人形、栄村つぐら等伝統的工芸品を造る地場産業を活かした景観（まち並みや産地の維持・保全、建築物やサインへの技術活用等）
- 水田や果樹栽培、野沢菜等の伝統野菜、きのこや山菜等、多様な特産物と景観を結びつけるエリア振興策の検討（産地とセットでブランディング、ツアーへの活用等）

図 広域景観エリアの景観育成方針



眺望景観を活かした景観育成イメージ

